

FUKUCHI

Public
Relations

No.21
September

広報ふくち



人・水・火、
夏の終わりに。

2007

9



ボランティア

「ボランティア」という言葉に
どんなイメージがありますか。

「ボランティア」は
自由な意思で自ら始める活動で、
誰かに強制されたり
義務感から行うものではありません。

以前は奉仕的なイメージが強かった
ボランティアですが、
現在は少し違ってきているようです。

多くの人が忙しい毎日を送っている今、
みんな自分のことで精いっぱい。
ただどこかで一度頭をまっさらにして、
「ボランティア」という言葉に
興味のある人も 抵抗のある人も、
ちょっとその意味を考えてみませんか。

この福智町にも身近なところで
ボランティアをする人がたくさんいます。
その思いや取り組みをとおして、
ボランティアについて探っていきましょう。

夏休み期間中、学童クラブ「かえるの学校」に通っていた市場小・上野小1～4年生のお友だち。清掃活動をとおり、ごみ問題とボランティアについて考えました。

CONTENTS

Photo / やまびこを響かせながら… 日王山から白雲の福智山を望む。

特集 心つなぐボランティア	3 - 11
■ ふくちインフォメーション	12 - 13
■ ふくちの夏。 <i>memory of summer 2007</i>	14 - 20
■ 変わる医療制度 — 20年4月から新しい健診・保健指導に	21
■ 大舞台で羽ばたく福智のアスリートたち	22 - 23
■ ズームインふくち [まちのわだい]	24 - 25
■ ふくち玉手箱 [お誕生日おめでとう etc]	26 - 27
■ 健康Q & A / 児童・子育て支援センター / 投稿傑作	28 - 29
■ 情報ひろば / 保健師だより / 年金 / 保健の掲示板 etc	30 - 36
巻末 追悼 世界最高齢者 名誉町民 皆川ヨ子さん	37 - 39
■ 京都大学吹奏楽団演奏会 / 町長日誌	40



P3-11



P22-23

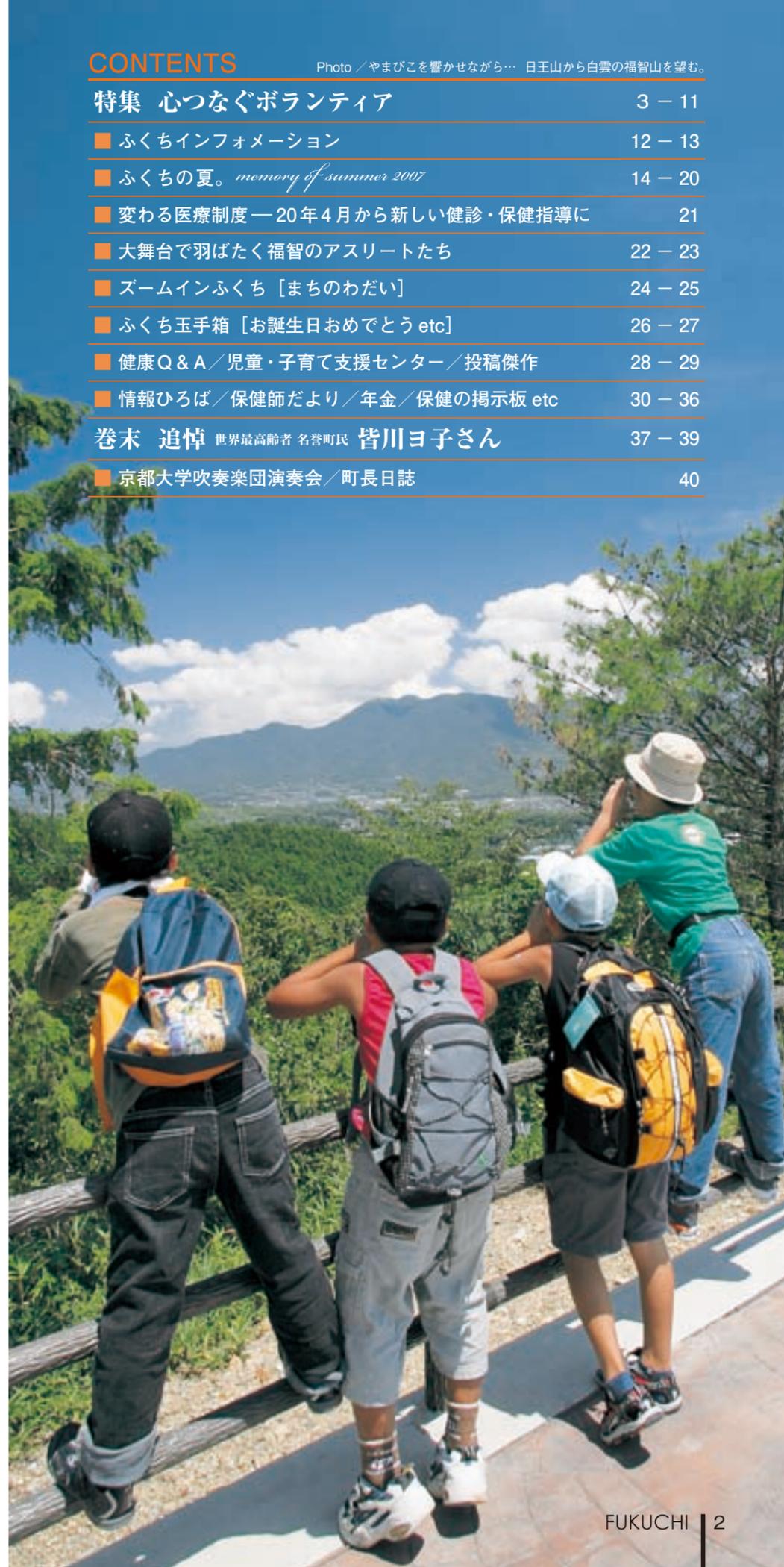


P37-39

FUKUCHI

【広報ふくち】2007.9月号

彦山川と中元寺川の合流地点、
河川敷シンボルゾーンで開かれ
た8月25日の「水と灯火の夕べ」。
夜空の大輪が水面に揺らぎまし
た。(ふくちの夏 / 14頁～20頁)





積み木やきんちゃく、わらじなど、自分ができもの、やりたいものを制作しています。木製の長いすにはてんだあはうすの焼き印が。

ボランティア

ひとりで悩んで
苦しんでいる人たちに
ぜひ知ってもらいたい。
そんな思いで
活動している人がいます。



ボランティアとの出会い

心あたたまる空間で感じたメッセージ。

生活から芽生える心

「わたしの母はわたしが5歳になる前に亡くなりました。記憶に残っている母はすでに寝たきりで、移動するのも困難でした。わたしにまつていいよ、ありがと」と肩を貸してトイレまで行っていたのを覚えています」と振り返るボランティアアグループ「むぎの会」の代表、白石眞英子さん（伊方）。



Maeko Shiraiishi
白石眞英子さん（伊方）
しらいし・まえこ ● 「むぎの会」、「てんだあはうす」の代表。障がい者問題をとおして、誰もが住みやすいまちづくりを目指し活動中。

和やかなムードで作業する白石さん（写真右）。
「ここでは時間がゆっくりと流れるんですよ。」



障がい児・者地域交流会「てんだあはうす」の活動は、福智町のぼの館で毎月第2土曜日。障がいのある人、ない人ともに交流できる場となっています。

を放っておけないのは、幼いころの母の記憶があるからだと思えます…。むぎの会は、発足当初から障がい児をもつ親たちの支援活動を続けています。就学前までは地元の保育園に通っている子も、いつしか養護学校をすすめられ、地元小学校に通わせたい」という親の希望は、なかなか受け入れられないのが全国的な現状だそうです。

2人の児童を受け入れ、現在は先生や児童全員で向き合っています。「その子は名前を呼ばれて手を挙げるのにも時間がかかるんです。一生懸命手を挙げようとしているのを、クラスの子どもたちはずっと見守って応援してくれます。どんなに時間がかかっても子どもたちは待っている。それが一緒に生活していることで芽生える心なんです。障がいのひとつの個性としてとらえられるかどうかは、どれだけ一緒に生活しているかで変わってきます。みんな同じ人間だ、一緒に生きているんだ、って感じるの、やはり実際一緒に生活していないと難しいですよ。」

それぞれの個性を見つける

子どもの障がいに責任を感じ、つらい思いを抱えながら毎日泣いて過ごす…これは障がい児をもつ親の誰もが通る道です。悩んでも誰に言えばいいのか分からない、言っていないのかどうかも分からないという人はたくさんいるはずですが、なかなか名乗り出てはこないそうです。

2年前、障がい者やその保護者たちの行き場所として、てんだあはうすが発足。白石さんが代表を務め、月に1回、毎回10人ほどのメンバーが集まり、それぞれアイデアを出しながら物作りを楽しんでいます。「てんだあはうすは障がいがある人、ない人どなたでも交流できます。何事も、障がい者だから、という片付けてしまうと、あるものにフタをされてしまうんですよ。人はそれぞれに好きなこと、得意なことがあります。ここで、その人が持っている光り輝くものを発見していく…そういった、個性を発揮できる場所にできたらと思っています。」

心あたたまる空間で、人がもつ原石を引き出そうとしている白石さん。ここに集うハンディのあるみなさんにとつて、そっと差し伸べられる優しい手のような存在なのかもしれません。

↑てんだあはうすのメンバーのかたからいただいた、取材に対するお礼の絵手紙。

ふくちキッズには...

子どもボランティア育成事業で広がる地域のふれあい活動

テレビゲームなどの普及で、休みの日は外に出ずに過ごすことが多い現代の子どもたち。そんな子たちが地域とふれあい、さまざまな体験ができるよう計画されているのが「子どもボランティア育成事業」です。旧方城町の社会福祉協議会が平成15年5月に立ち上げ、現在では福智町内の小・中・高校生に対象範囲を広げて活動しています。2〜3か月に1回、町内の清掃活動、福祉施設の訪問、障がい者との交流や高齢者疑似体験などを行い、今まで延べ616人（毎回20人程度）が参加。ボランティアへの関心を高めています。



行事1回の参加につき1ポイント
ずつシールをため、5ポイントた
めると図書カードがもらえる特典が
あります。現在の登録者数は245人です。



1年生からの常連
沼野 翔くん（伊方小3年）

1年生のときからワークキャンプやごみ拾い活動など、いろいろな行事に参加しています。ワークキャンプでは、流しそうめんを初体験しました。学校の友達もいたので楽しかったです。



福智町になって初参加
沼口 桃花さん（上野小3年）

ごみ拾い活動に参加しました。ごみを拾ってきれいになったところを見ると、うれしかったです。今まではお母さんが申し込んでいたけど、これからは自分で積極的に参加したいと思います。

ワークキャンプで体験と思い出作りを!

障がいについての勉強や高齢者疑似体験など、毎日の生活ではなかなかできないことを体験できるワークキャンプ。ほかにもゲームやバーベキューなど、楽しいイベントが盛りだくさんの2日間です。今まで参加したことがない人も、この機会にぜひ参加してみませんか?

日時 集合9月16日(日)9時30分
解散9月17日(月)15時(1泊2日)
場所 金田ふれあい塾
対象 福智町内の小・中学生(保護者の了解が必要)
申し込み締め切り 9月10日(日) (定員45人)
申し込み方法など詳しくはお問い合わせください。
福智町社会福祉協議会(方城事業所)
☎221-3778



毎回、多くの参加があるワークキャンプ。前回はボランティア団体「ユートピア37研究会」に協力してもらい、ソバ作りを体験しました。

福智町ボラ連
ついに発足
誰もが安心して暮らせる
福智町を目指して。

20団体272人が加盟しスタート

福智町内には、ボランティア活動をして
いる多くの人や団体が存在します。そのボ
ランティアグループが互いに連絡を取り合
い協力することで、ボランティア活動をよ
り活性化させ、誰もが安心して暮らせる福
智町を目指して設立したのが「福智町ボ
ランティア連絡協議会」です。社会福祉協
議会方城事業所を事務局として、平成18年
11月に設立準備委員会が発足。平成19年4
月に町内全体に呼びかけ、20団体（272
人）が加盟しました。

7月8日に地域交流センターでその発足
式が開かれ、約百人が参加。各グルー



↑特別養護老人ホームで理髪活動のボランティアをして24年になる池本会長。グループ「ひまわり」の顔マッサーも受け、みなさんの表情は実に晴れやかでした。

紹介の後、県社協ボランティアセンター運
営委員長である古谷信一さんを講師に招き
「ボランティア活動の現状〜これからの福
智町に求められる活動とは〜」と題した講
演が行われました。古谷さんは行橋市で39
年間勤めた小学校教諭を退職後、民生児童
委員や地域に根ざした寺子屋「家庭塾」を
運営するなど、幅広い活動をしています。
「退職後に、何をしたいのか分からない
という人がボランティア活動を行うケー
スが多いようです。ボランティアは今まで
の経歴も年齢も関係ありません。自分の得
意なこと、興味のあることをやればいいだ
け。ボランティアを始めることに何も憶病
になる必要はないのです」と会場に語りか
け、自身の体験を踏まえながらボランティ
ア活動のポイントやメリットをユーモアを
交えて講演しました。

ニーズ高まるボランティアへの期待
いま国民の3人に1人がボランティア活
動に参加したいと思っっていることが、内閣
府の調査で分かっています。現在は10年前
に比べ、約3倍の1300万人が活動して
います。しかしこれは国民の10人に1人の
数にあたることから、ボランティア活動に
参加したいけれど、実際にはできていない
という人が多いことが分かります。
福智町のまちづくりも、体育協会、文化
連盟、子ども会育成連絡協議会、青少年育
成町民会議のスタッフなど、無償で活動し
てくださる多くのみなさんに支えられてい
ます。住民ニーズが多様化し、行政サービ
スでは対応できないすき間が課題となっ
ている現在、地域に密着したボランティアが
今後ますます必要になっていきます。



↑福智町ボランティア連絡協議会は、2か月に1回の定例会を行い、互いの情報交換をしながら今後の活動や取り組みについて話し合っていく方針です。

ボランティアが集えば、心つなく輪も広がる。
目標は誰もが“安心”して暮らせるまち。
ボラ連は、その“安心”をそっと支えてくれます。



記念すべきボラ連の発足式。講演会では
ボランティアの現状と課題に共感、特に
全加盟団体による活動紹介は互いの理解
と交流を深める貴重な機会となりました。

福智町ボラ連加盟グループ	代表者名、会員数、発足年および活動内容
理容美容	代表：池本 正義（伊方） 会員：1人 昭和58年発足 内容：特別養護老人ホームでの理髪活動
田川署赤池交番連絡協議会	代表：岩城 辰美（赤池） 会員：14人 昭和30年発足 内容：青少年補導や交通パトロール、地域の防犯活動
クローバーの会	代表：白金 春生（伊方） 会員：2人 平成19年発足 内容：障がい児者、高齢者などへの各種支援活動
ひこさんがわ夢の会	代表：大久保琢磨（赤池） 会員：76人 平成9年発足 内容：彦山川の河川清掃など（年会費1,000円で運営）
青い鳥	代表：桑野 京子（市場） 会員：13人 平成9年発足 内容：視覚障がい者への広報ふくち音訳配布、勉強会
方城手話の会	代表：葛原 高（弁城） 会員：12人 平成7年発足 内容：聴覚障がい者との交流、手話の普及活動など
世代	代表：崎山 京（伊方） 会員：3人 平成8年発足 内容：地域活性化活動、町や社会福祉協議会行事の支援
ユートピア37研究会	代表：白石 進（伊方） 会員：19人 平成元年発足 内容：地域活性化活動、町や社会福祉協議会行事の支援
ひまわり	代表：三宅 貞子（伊方） 会員：15人 平成8年発足 内容：花植え、施設の高齢者のマッサージ、行事の支援
金田手話の会	代表：河西 秀美（金田） 会員：19人 昭和56年発足 内容：聴覚障がい者との交流、手話の普及活動など
個人ボランティア	代表：石田富士子（伊方） 会員：1人 内容：各種ボランティア活動全般
個人ボランティア	代表：田中 和敏（神崎） 会員：1人 内容：各種ボランティア活動全般
こころ	代表：森 静子（伊方） 会員：28人 平成15年発足 内容：青少年の健全育成、高齢者や障がい者の支援など
福智つばさの会	代表：金山 松榮（伊方） 会員：4人 昭和62年発足 内容：高齢者福祉の啓発活動の映画上映や講演会など
ぶらんこ	代表：岸谷 元美（赤池） 会員：12人 平成10年発足 内容：絵本の読み聞かせやブックスタート事業の支援
菜の花	代表：岸谷 元美（赤池） 会員：10人 平成9年発足 内容：聴覚障がい者との交流、手話の普及活動など
むぎの会	代表：白石眞英子（伊方） 会員：10人 平成5年発足 内容：障がい問題を通し誰もが住みよい町づくりの推進
交友会	代表：榊 徳春（伊方） 会員：10人 平成12年発足 内容：行事の支援、町内でのボランティア活動への協力
ほたる	代表：藤木 正伸（伊方） 会員：10人 平成17年発足 内容：依頼があればどんな活動でも
虹の会	代表：奥野サカエ（上野） 会員：12人 平成3年発足 内容：福祉施設での清掃と交流、缶や古紙の回収など

会長
池本 正義さん



町民のみなさんにボ
ラ連のことを知って
いただき、より多く
の人にボランティア
に対する関心を持
って欲しいと願っ
ています。ひとり
では行動を起こせ
ない人も、わたし
たちの活動をPR
することで興味
を持ち、共に活
動していただくと
幸いです。今
後も地域ボラン
ティアの輪がま
すます広がっ
ていくよう努め
てまいります。
(理容美容・伊方)

副会長
大久保 琢磨さん



ボランティア団体
が福智町としてや
っと一つになっ
たという思い
です。今後、この
ボラ連がどう発
展していくかは
我々の力にかか
っています。団体
ごとの活動だけ
でなく、相乗効果
や一体感が生ま
れるような協議
会全体の取組み
も考えていき
たいと思います。
(ひこさんがわ夢
の会・赤池)

事務局長
田中 和敏さん



事務局では、町民
のみなさんからボ
ランティアの要請
があったときの取
りまとめなどを行
います。みなさん
が困ったときの相
談窓口になれる
ようPRし、でき
ることから積極
的に取り組んでい
きたいと思いま
す。(個人ボラン
ティア・神崎)

ボランティアの横顔
町内で活動する団体を
少しだけご紹介。



毎月1回、ページ分担をして広報の音訳をする桑野さん(左)と木村さん(右)。朗読の先生を招いての勉強会を毎月行い、音訳技術向上のために学習を重ねています。

GROUP NAME
「福智町朗読ボランティア 青い鳥」

視覚障がい者へ情報を正確に伝える。幸せの「青い鳥」

目が不自由な人のための「広報ふくち」を作ることに。それが「青い鳥」の活動の一つです。数十分ずつの活動の広報紙も、表や写真の説明を詳細に入れながら隅から隅



現在、町内8件に会員が直接CDをお届けしています。手渡したときの「ありがとう」という言葉と笑顔が、何よりの励みになるそうです。

まで聞き取りやすいテンポで音訳すると、それは3時間にもなります。「文や写真を実際に目で見て理解するよりも、耳で聞いただけで判断するほうが数倍難しいものです。まずは自分が理解し、どうしたら正確に分かりやすく伝わるかを常に考えています」と桑野京子さん(市場)。桑野さんは視覚障がい者体験にも参加し、目が不自由な人の気持ちに近づくと努力もされたそうです。そんな聴く人への配慮が行き届いた、音訳版広報ふくちは、木村元子さん(赤池)と2人がかりで1週間かけて録音され、CDに複製されています。青い鳥の声によって町の「いま」と情景が手から手へ伝わっています。

人の心をはぐくみたいそれが一番の願いです。



「絵本は子育てのパートナーだということを、親にはぜひ知ってもらいたいですね。ご自宅に2500冊を所有する岸谷さん(写真右)。ブックスタートで「はい、アーン」。

GROUP NAME
「絵本を読む会 ぶらんこ」

「心を揺り動かしたいという思いから「ぶらんこ」と名付けました」と団体名の由来を語る岸谷元美さん(赤池)。その経験から、絵本は人の心を育てる、と痛感したそうです。



学童クラブ「かえるの学校」で岸谷さんの読み聞かせに集中した表情を見せる子どもたち。この「聞く力」が「考える力」をはぐくんできます。

絵本には、はじめはいけない、やっや、良くない、と一言も書かれていなくても、読み終えると誰もが自然とそのメッセージを感じ取るのだといいます。人に言われると素直に聞けなくても、絵本からのメッセージはすつと入ってくるので自分の心で考えられるのです。「わたしも絵本のメッセージを感じて反省させられる時があります。絵本は子どもだけのものではないですよ」と岸谷さん。現在、乳児に対するブックスタート事業の支援のほか、小学校や高齢者大学にも出向いて絵本の読み聞かせを行う多忙な日々を送っています。絵本で心の琴線を揺らしている「ぶらんこ」のみなさんです。



金田手話の会ではテキストで勉強した単語を使いながら、聴覚障がい者と直接話し、交流を深めながら技術を高めています。「覚えた単語の数が増えてくると楽しいですよ」と河西さん(写真左)。

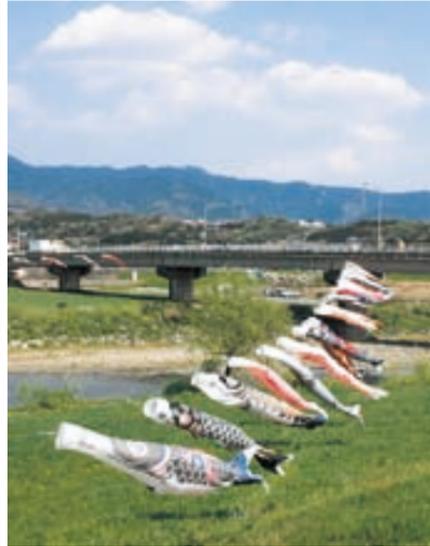
継続こそ一番の力だと信じて26年。

現在町内には3つの手話の会があり、中でも「金田手話の会」は昭和56年から活動する歴史あるグループです。「手話は言葉なので、繰り返し使わないとなかなか覚えられません」と河西秀美さん(金田)。会員が集まらず1人で勉強した時もありましたが、絶やさずに継続し、今は週1回のメンバーとの交流を楽しんでいます。「聴覚障がい者が困ったとき、手話ができる人がいたらとても心強いんです。どこの職場でも手話が必要な言葉。手話技術を持つ人がもっと増えてほしいですね」。知りたい、伝えたい、という気持ち大切にしている河西さんです。

GROUP NAME
「金田手話の会」



↑地域のかたと協力するこいのぼりの収集や掲揚作業は、今年で9回目を迎えました。→河川勉強会で自ら講義する大久保さん。美しい彦山川の将来を担う子どもたちに、河川美化への意識と活動を広げています。



↑毎年4月中旬から上野橋付近の彦山川河川敷を泳ぐ、約100匹のこいのぼり。春の風物詩となっており、上野焼「春の陶器まつり」の来客者も色鮮やかに迎えています。

GROUP NAME
「ひこさんがわ夢の会」

“ふるさとの川を愛す” ボランティアで広がる心の輪。

平成15年に県河川協会、平成18年には日本河川協会の功労者表彰を受賞し、今年6月に「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した町内最大のボランティアグループ「ひこさんがわ夢の会」。大久保琢磨さん(赤池)が10年前に彦山川河川敷の清掃活動を始めたことが発足のきっかけです。「最初は2人でごみ拾いを始めましたが、何度拾っても、次回にはまたごみが落ちていました。彦山川の水で生活していることをもっと認識して欲しいと思いましたね」。大久保さんは、ごみの多さを目の当たりにすればごみ問題に関心をもち人も増えるのではと考え、河川敷でのコンサートやお茶会を開催。会員数は瞬く間に増え、現在76人を数えます。活動は10年前と同じく河川敷清掃がメイン。月1回の清掃では、毎回約2トンものごみが回収されるそうです。「地域社会に貢献したい気持ちを持った人が集まり、今では会員同士のふれあいの場にもなっています。一人暮らしの高齢者に、夢の会は癒されるよ、と言ってもらえたときは幸せを感じました」と大久保さん。川を愛する熱い思いを子どもから大人まで広めた夢の会は、いま、人と人との心の輪も広がっています。



Tatsumi Iwaki
岩城辰美さん(赤池)
いわき・たつみ ● 昭和30年から、雨の日も雪の日も街頭に立ち交通誘導を続けている。ボランティア歴52年で数々の表彰を受ける旧赤池町の名誉町民。今月26日で93歳を迎える。



←歩道橋を渡り終えた児童の挙げた手に、そっと応える岩城さん。やさしいまなざしで見守り続けています。

ボランテア



↑通学する生徒との何気ない会話も大切にしている岩城さん。「あいさつのできる子に悪い子はいない」と常々口にしています。

「自分のような障がい者を増やさないうように」と毎日交通事故防止のために街頭に立ち、啓発と誘導を行っていた人と全国大会で知り合い、その活動に深く感動した岩城さんは、昭和30年から今まで、半世紀以上にわたって街頭での誘導を絶やさず続けています。これまで、県知事表彰や大臣表彰など、数え上げればきりが無いほどの表彰を受けました。

「最初に表彰されたときに、子どもたちが手紙をくれて、雨の日もいつも立って来てくれてありがとう」と書いてくれた。その言葉を見るといつも涙が出るんですよ。病院に入院したときには、一日も早くよくなつてね」という手紙ももらった。そういう子たちの手紙は、もう何十年もたつたが、ずつ

と宝物にしていると岩城さん。「子どもは長生きの薬、子どもが長生きさせてくれる」と、今日も笛を口に、そつと左手を挙げて、学校へ向かう子どもたちを送り出します。

心つなぐボランティア

決まった形がなく、言葉で明確に定義することができないボランティア。何をもちてボランティアなのかは難しいところです。今回ご紹介した人のほかにも、町内にはさまざまな場面で人知れずボランティアをしている人がたくさんいます。もしかしたら本人すら、ボランティアだとは思っていないかもしれません。いろいろなお事情でやりたいことができずに困っている人もいれば、できる範囲で助け合おうとする人もいます。その根底にある心こそが、ボランティアの原点であり、真意なので



ボランティア活動は、無理なく、強制ではないことも継続するための大切な要素です。「こころ」のみなさんの活動も、できる時に、できる人が、自主的に集まっています。

はないでしょうか。ボランティア活動は、地域や人を愛し、感謝するという誰もが持っている気持ちを表し、行動にうつしたものだと思えます。一人ひとりがそうすることで、自然に、助け合える町へと、少しずつ近づいていきます。

人と人との心つなぐがボランティアの心をはぐくみ、やがて行動という形に表れていきます。そして、支えられた人の気持ちに感謝という言葉で返ってきたとき、その喜びがボランティアの次へのステップの活力につながっていきます。そこにはたくさんのお出会いと、出会いの数だけの感動が生まれ続けています。



8月21日の出校日、伊方小そばの通学路で。「こころ」は町内全域を対象に下校時の見守りを行っています。

支える心とつなぐ心
地域づくりのキーワード
「人と心のつながり」

Shizuko Mori
森静子さん(伊方)
もり・しずこ ● 事件事故から子どもを守るため発足した「こころ」の代表。現在は障がい者への支援など積極的に活動中。



見守りボランティア「こころ」

「最初は、地域のかたへの恩返しという感覚でした。仕事上いろんな家庭を訪問しますが、ちよつと目を向けると困っている人がたくさんいることが見えてきたんです。」

ボランティアグループ「こころ」の代表を務める森静子さん(伊方)。平成15年の会発足当時、子どもを狙った事件が多発していたため、まず通学路で下校する子どもを見守りを始めました。「実は最初のころは、わたしたちが不審者と間違われたんですよ」と森さん。危険なのはやはり、人の悪い場所に立っていると、子どもに驚かされて走り去られたこともあったそうです。地域でおなじみの「こころ」のトレードマーク、黄色いTシャツとキャップは、そういった誤解を避けるために作られたものです。以来、発足から4年がたち活動も定着。今では、Tシャツを着ていなくても子どもたちからあいさつをしてくれます。

そんな「こころ」の活動は、高齢者のごみ出しのお手伝いや電球交換などの身近なものや、障がい児の遠足の援助など多岐にわたります。遠足ではチャイルドシートを再利用したいすに子どもを乗せ、5人交



鷹取山の山頂で

代で背負い鷹取山に登りました。
薄れつつある地域のつながり

昔は隣近所同士が顔見知りで、会えばあいさつを交わし、子どもの危険にかかわるときは咎めるなどして支え合っていました。しかし今は、子ども会や補導の役員がやればいい、下手なことをすると文句を言われる...と、気に掛けてはいても責任転嫁し、結局は見えぬふりをしてしまいうケースが多いようです。そのような今こそ、地域の子どもたちとのつながりを築くことが重要な課題となっています。

「地域との密な関係をつくり、みんなで自然に助け合えるような環境づくりのきっかけになればと考えています。改めて、ボランティア活動をするんだ!というのではなく、昔のような助け合いができれば理想的です。ね。気にしていても、なかなか一人では行動に移せません。そんな人たちが一歩踏み出して行動できるような場を作りたいです。」

「こころ」のメンバーは現在28人。当初は森さんの仕事仲間が中心でしたが、仲間を呼び、ボランティアの輪が広がっていききました。昔ながらの近所付き合いが希

薄な今、「こころ」の活動は、地域の人と人をつなぐ一つの場になりました。

「一人で下校する区間」「フェンスが無い区間」などを色分けした町内の危険箇所マップを、独自で作成している「こころ」のみなさん。



人生を変えた出会いがある...

早朝から赤池交番前の交差点に立ち、車両や通行者の誘導を欠かさない岩城辰美さん(赤池)は、ボランティア歴52年の大御所。かつて30歳のときに不慮の事故に見舞われ、右手を失いました。その後、身体障害者福祉会の会長を務め、人生を変える大きな出会いにめぐり会いました。

FUKUCHI INFORMATION

今年から1会場で

統合
開催

福智町敬老会と敬老祝い金の支払い

昨年度まで旧町単位の3会場で開催した「福智町敬老会」を本年度から統合して、一会場で開催します。11月11日(日)に福智町屋内競技場で行い、受付は9時から、10時からの開会です。当日、上野・市場・赤池・弁城・伊方地区は、巡回バスの運行を予定しています。なお、敬老会の対象となる町内の70歳以上のかたは、7月末現在で5千89人です。

敬老祝い金

本年度の「福智町敬老祝い金」については、10月下旬から11月上旬にかけてのお渡しを予定しています。対象者や金額、お渡し方法など、詳細が決まり次第お知らせします。例年よりお渡しが遅れることになり、ご迷惑をおかけしますが、しばらくお待ちください。

福智町福祉課福祉係 ☎(22) 7763

福智町敬老会 (今回から旧3会場を統一して開催)

日時 | 11月11日(日) | 受付 | 9時～ | 開会 | 10時～

場所 | 福智町屋内競技場(ドーム) ▶▶

対象 | 福智町内の70歳以上のかた

※ 上野・市場・赤池・弁城・伊方は巡回バスを運行。



マスタープラン策定へ

総合
計画

1年の協議を経た審議会 まちづくり計画を答申

町の総合計画策定のため、浦田弘二町長の諮問を受けて、昨年の8月7日に発足した「福智町まちづくり計画(総合計画)審議会」が、およそ1年間にわたり協議を経て答申書をまとめました。8月20日に上田毅会長(福岡県立大学教授)が、浦田町長に答申しました。審議会8回、



↑浦田弘二町長に総合計画の答申を手渡す上田毅会長と審議会の各部長。

まちづくり計画は、町の第1次総合計画として策定され、地方自治法(第二条第四項)で定められた町の最上位計画に位置づけられるものです。今回、10年間にわたる「基本構想」と前期・後期、各5年間にわたる基本計画の「前期基本計画」について答申されました。この「福智町まちづくり計画(総合計画)」の内容は、議会の議決後お知らせします。

福智町企画課企画係 ☎(22) 7766

財政再建に向け

町の
行革

公共建物及び施設 検討委員会が発足

旧町から引き継いだ153にもものぼる福智町の公共施設、その維持管理費が町の財政を圧迫しています。この状況を改善するため、施設の統合・廃止・存続を見直す「公共建物及び施設検討委員会」が8月10日に発足しました。今回は学校や地区公民館・集会所、住宅、防災施設などを除外し、11月末までをめぐり施設の有効活用も含めて調査と検討が進められます。

福智町財政課管財係 ☎22-7771



←使われていない施設も含め検討。

行革の実施計画

町の
行革

行革集中改革プラン 作成まもなく



←最終調整を行う推進本部の部会。

町の行財政改革大綱答申を推進する行財政改革推進本部が、その実施に向けた「集中改革プラン」の作成の最終調整段階に入りました。浦田町長を本部長、松木副町長と桑野教育長を副本部長とするこの推進本部は、総務・民生・事業・教育の4部会を設置し、関係課長や管理職で構成。各項目の具体的な実施年度や数値目標などの協議を進めています。

福智町総務課庶務係 ☎22-0555

本年度方針固まる

町P
活動

福智町PTA連合会 が本格始動

町内8校で組織する福智町PTA連合会(谷口博幸会長)の役員が決まり、7月23日に開かれた8校のPTA会長と学校長による役員会で、本年度の活動方針が話し合われました。子どもたちの安全や食育などの課題に、家庭・学校・行政がどのようにして協力すべきかが協議され、今後、開催を予定している懇談会などを通して、連携を深める方針が固められました。

福智町PTA連合会事務局(市場小) ☎28-2009



←7月23日に市小で開いた役員会。

あすばるの助成で

男女
共同

男女共同参画の 地域づくり事業進む



←春日市「あすばる」での研修会。

福智町では本年度、福岡県男女共同参画センター「あすばる」の助成を受けて、男女がともに考え、助け合いながら、地域が抱える課題を解決することを目的とした「平成19年度あすばる男女共同参画地域づくり事業」に取り組んでいます。10人の実行委員による研修や会議を重ねながら、秋から冬にかけて行う具体的な取り組みを検討しています。

福智町企画課企画係 ☎22-7766

展覧会関連イベント

参加
募集

魯山人展と 親子で上野焼



「雲錦大鉢」
世田谷美術館所蔵

時間 9時30分～17時30分(入館17時まで)
休館日 9月10日(日)・18日(火)・25日(火)
10月1日(日)・9日(火)・15日(日)
観覧料 一般700円・高大生400円
小中生200円 毎週土曜は高校生以下無料

9月8日(土)～10月21日(日)に田川市美術館で開かれる「北大路魯山人展」の関連イベントとして「親子で上野焼」に入門!が開催されます。たくさんのご応募お待ちしています。

内容 田川市美術館で魯山人展を鑑賞した後、バスで上野へ移動し、陶芸家の指導による陶芸体験を楽しみます。

(田川市美術館で集合・解散)

日時 9月29日(日)10時～17時

参加費 1人千円(材料費+保険料)

定員 親子10組(小学生以上)

申し込み 往復はがきかメールで、住所・氏名・電話番号を明記し田川市美術館「親子で上野焼」係までお送りください。(多数の場合は抽選)

申し込み期限 9月21日(金)

田川市美術館 ☎(42) 6161



青空を追いかけ 星空に恋した ふくちの夏。

福智山に入道雲。日王山には子どもたち。青空を太陽が、夜空を花火が焦がしたふくちの夏。子どもたちの貴重な体験や華麗なステージが、同じ空の下で、まちと人のページにつづられました。それぞれに過ぎ去った、さまざまな夏…思い出のふくちの夏のイベントをリポートします。



memory of summer 2007



約1500人が見上げて歓声をあげた810発の打ち上げ花火。町のほぼ中央から上げられた大輪は、会場から離れた所からも楽しめ、自宅から眺めた人も多かったようです。



「福智音頭」「花火音頭」「嘉穂劇場音頭」「炭坑節」のほか、地域ならではの「フクチ」を披露した総踊り。スペシャルゲストに、歌手の藤がおりさんを迎え、美声とともに輪になって踊りました。



ふくちの夏、愛おしんだ夏。待ちに待った開催です。昨年惜しくも雨で中止となった「水と灯火の夕べ」。「ミズトモ」の愛称で旧金田町から継続する夏のメインイベントが、ついに福智町で初開催を迎えました。彦山川と中元寺川の合流地点、河川敷シンボルゾーンを舞台に、露店が弧を描いて並び、人々の到着を待ちわびていました。日が落ちるころ、黄・紺・水色・黄緑など、あでやかな浴衣を粋に着流した踊り手さんが、各地区から集結。開会あいさつの後、やぐらを中心に円が組まれ、およそ150人の輪による4曲の総踊りが披露されました。開幕を飾ったのは今回が初披露となる「福智音頭」。合併を記に制作されたこの曲に振り付けを加え、各団体が

水面に浮かぶ 夏夜見上げた 水と灯火の夕べ。



ひしめく露店では、子どもたちも目を輝かせていました。

INTERVIEW

和多和可江先生の振り付けに携わり、この場で初披露できたことを光栄に思います。今後も毎年踊りたいです。



福智音頭の初披露に参画した 原田 和子さん (伊方)

が故人の霊を見送りました。フィナーレは大輪の花火が夜空を彩り、会場に集まった1500人を魅了。人とふれあい、水に親しみ、夜空を見上げた夏の情緒あふれるイベントは、町の空と人々の胸に熱く刻まれました。



故人をしのびながら川に浮かべた「灯ろう流し」。その後、感傷的な場面をなぐさめるように、花火が夜空を焦がしました。

ビデオを複製し、練習した踊りです。ピタリとそろった身のこなしが、その成果を物語っています。日も完全に落ち、涼しい風が水面から吹いてきたころ、会場横の彦山川でしめやかに「灯ろう流し」が行われ、各世帯



「平和祈念堂」「摩文仁の丘」「健児の塔」「ひめゆりの塔」「旧海軍司令部壕」など、沖縄戦慰霊の地を訪れた子どもたち。事前研修などで、手づくりの千羽鶴2組を折りあげ、現地ですりとりととも捧げました。8月23日の解団式では、沖縄で体感した感想文を書きました。



↑香々地の青い海を舞台に無心で遊びました。
→途切れることのない、打ち寄せる波。いつまでも飽きることのない、子どもたちの砂浜。



少年のバスで国東半島へ 海の子になった三日間。



バスにゆられて故郷を離れ、子どもたちが初めての環境で生活体験をする「少年のバス」。福智町青少年育成町民会議が主

ふくちの夏、体験した夏。

印象に残った地引き網。数百匹の魚を共同作業でたぐり寄せます。タイやハマチなど大漁でした。



少年の翼で 碧き美ら島 沖縄へ。

ふくちの夏、感動した夏。

旧方城町から数えて14回目の夏を迎えた「少年の翼」。沖縄県中城村の子どもたちと互いに訪問し合い、交流を深めながら視野を広げる交流事業実行委員会主催の事業です。8月18日に町内の小学5〜6年生24人が、町章入りの帽子とそろいのTシャツを着用して福岡を出発。空路で沖縄入りしました。子どもたちは20日まで、中城村の同世代の家庭で2泊のホームステイ。初日は首里城を見学した後、中城村で伝統芸能による歓迎を受けました。2日目は中城村の子どもたちと、万座毛、美ら海水族館、中城城を見学。3日目は沖縄戦の慰霊の地を訪れ、戦争の悲惨さを痛感しながら献花しました。子どもたちが琉球文化に触れ、命の尊さを体感した3日間。5日間の事前研修と結団式、解団式での学習も含めて、沖縄がいまに訴えかける平和へのメッセージを深く受け止めました。



世界遺産の「首里城」や「中城城」をはじめ「万座毛」「美ら海水族館」などの観光地をホームステイ先のお友だちと見学。中城村での交流会では、沖縄に伝わる伝統芸能「エイサー」で歓迎されました。

INTERVIEW

実際の戦地跡で戦争の残酷さと犠牲の多さを実感しました。平和と命の尊さを改めて感じました。



団長をつとめた 紫村 彩乃 さん (神崎)

INTERVIEW

初めて参加しました。地引網など貴重な体験を通して、自然の大切さや自主性を学ぶことができました。



代表をつとめた 滝本 聖史郎 くん (伊方)



野外活動や創作活動など、すべてが班行動。相手のことや集団の中での自分について考えた3日間でした。



←夏祭りのラストを飾った打ち上げ花火。昨年は中盤から雨に見舞われましたが、今年は最後まで堪能できました。



初舞台の「ゆれんジャシヨー」や「ちかっば芸人ショー」など、TV番組の協力で実現したお笑いの数々。「ハワイアンダンス」では常夏の南国ムードに包まれ、会場は終始多彩なステージに彩られました。

ふくちの夏、魅せられた夏。

歩行者天国の商店街が舞台

福智町 I LOVE カナダフェスタ

露店が並び、香ばしい匂いが漂う8月3日の金田新町通り商店街。日が落ちるころ、司会者のパワフルな発声でカナダフェスタが開幕しました。今年からイベント名に「福智町」をつけ、浴衣コンテストを加えるなど心機一転。金田町商工会主催で17回目を数える催しです。歩行者天国の商店街で仮装カーニバルが展開され、出場した8チームが人ごみをよけるように個性的なパフォーマンスでパレード。その後、スポットライトとつめかけた観客の視線が集まるステージで、息のあったダンスなどが披露されました。審査の結果、栄えある優勝賞金20万円は「花より団子」チームが獲得。延べおよそ2千5百人が集まった商店街が興奮の熱気に包まれました。



露店にぎわう商店街で、プラカードを掲げた各チームのパレード。

ふくちの夏、はじけた夏。



↑歩行者天国になった商店街



↑出演したヒーローが大人気
←優勝は「花より団子」チーム、一糸乱れぬ華麗なダンス。

抱腹多彩な 弁城夏祭り。

TV番組のタイアップで

温泉ファンでにぎわう日曜日の「ふじ湯の里」で、8月26日に実行委員会主催による「第4回弁城夏祭り」が盛大に開かれました。今年はTNC深夜番組の「ちかっば」がタイアップし、多彩な催しが実現。約820人が屋外ステージを見守るなか、お笑いタレントが装った「温泉戦隊ゆれんジャシヨー」でにぎやかなスタートを切りました。このステージで福智町のヒーローとしてデビューした「ゆれんジャシヨー」お笑いムードもさめやらぬまま「ちかっば芸人ショー」が展開され、6組によるショートコントがたたみかけるように、

会場を笑いの渦へと巻き込んでいきました。その後ステージは、奥田フアラカデミーによる「灼熱のハワイアンダンス」で趣を変え、しっとりとした雰囲気。恒例の「浴衣コンテスト」では、4人のノミネートの中から千票以上の得票を得た永末美津代さん（弁城・22歳）が三代目藤姫に輝きました。豪華景品を手にした当選者が笑みを浮かべた町内外32店舗の景品提供による大抽選会の後、夜空に咲く花火が打ち上げられ、最後まで飽きることのない催しが彩られました。



↓二代目からバトンを引き継いだ三代目藤姫。←家電製品なども並んだ大抽選会。



INTERVIEW

より多くの方々が訪れ、温泉や町がますます元気になるようなお手伝いができればと思います。



3代目藤姫に選ばれた 永末 美津代さん（弁城）

INTERVIEW

練習不足でしたが十分楽しめました。機会があればぜひまた出場してみたいです。



仮面ライダー電王に変身した 吉田 雅也さん（金田）



↑準優勝に輝いた「大任町商工会女性部」



↑軽快な「マリオ&ルイジー」が特別賞



↑愛らしい振りで特別賞の「喰たんチアーズ」



↑初開催した浴衣コンテスト



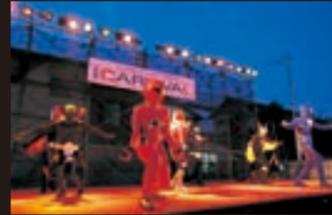
↑特別賞の創作炭坑節「さのよいシスターズ」



↑会場を爆笑させた「ホワイトチェリー」



↑勇ましい「パイレーツ・オブ・カナダっ子」



↑子どもの大歓声を浴びた「ヒーローマニア」

朝日を浴びて体操、さわやかな一日の始まりです。青空と星空の下で、豊富な体験学習が待っています。



神崎のふれあい塾を拠点にした、バラエティー豊かな体験プログラム。子どもたちは食事や清掃など指導員の力を借りながら仲間と協力し、自分のことは自分で実践する2泊3日の共同生活を送りました。

8月7日～9日に行われた「アドベンチャーふれあい塾」では、真っ青な空の下、まぶしい日差しを浴びながら、町内の小学3年生～6年生18人の元気な声が響きました。創作活動の灯籠づくりではそれぞれが個性豊かな絵を描き、外遊びではローボートやカヌーを体験。初めて触れるオールやパドルを懸命に漕ぎました。山登りでは、日王山から町のシンボル福智山と対面し、下山後の公園でほお張った自作のおにぎりは格別な味でした。炎を囲んだキャンプファイアーは、忘れられない思い出の一夜に。ここで出会い、友情を育んだ子どもたちの体験は、日常では得ることのできない、夏休みの大切な宝物になりました。



↑歓声をあげて水浴び、30℃を越す猛暑でもヘッチャラ。



↑最初は恐る恐るでしたが、みるみる上達したローボート。

ふくちの夏、ふれあった夏。

遊んで学んだ アドベンチャー ふれあい塾。



↑みんなで力を合わせ準備したキャンプファイアーが闇を照らします。歌やクイズでも大いに盛り上がりしました。

INTERVIEW

新しい友だちがたくさんできました。とても楽しく、いい経験ができたので、また参加したいです。



初めて参加した 弘中 咲希人くん(赤池)



↑涼しげな流しそうめん、上手に取れたかな？
←「ヤッホー」元気な声がこだました日王山中腹。



↑みんなで作った灯ろうは「水と灯火の夕べ」で流します。
←来た時よりも美しく、お世話になった施設を念入りに清掃。

！ 変わる 医療制度

国民皆保険を堅持し、国民の健康を守るために

平成20年4月から 新しい健診・保健指導の制度 が始まります。

増え続ける国民医療費の適正化と生活習慣病の予防を目的として、平成20年度から40歳～74歳の人を対象に「基本健診・保健指導」が医療保険者（健康保険の運営団体）に義務付けられます。

なぜ医療制度改革 が行われるの？

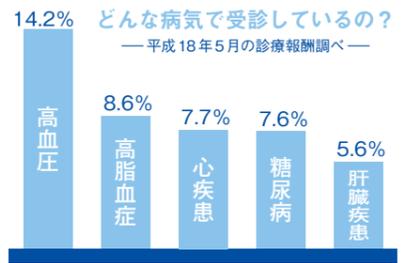
国内の生活習慣病患者数は年々増加の傾向をたどっています。平成14年度の糖尿病患者数は690万人で糖尿病予備群を含めると1千620万人の人がいるといわれています。

また、急速な人口の高齢化と、医療技術の進歩や生活習慣・疾病構造の変化などにより、わが国の国民医療費は毎年数千億単位で増加しています。平成16年度の国内の医療費は32兆円を超え、まだまだ増加していく傾向です。

医療保険は、各機関とも極めて厳しい運営と国・県・市町村の財政を圧迫しています。このような状況を踏まえ、国民皆保険を堅持し、国民の健康を守るために、平成20年度に医療制度改革が行われます。

福智町における 1人あたりの国民健康保険 医療費は年間43万円！

国民健康保険の保険者は各市町村です。そのため福智町でも、国民健康保険の医療費の適正化に努めていく必要があります。福智町の1人あたりの年間医療費は43万2470円となっています。



もっとも多い病気は高血圧

この表はどのような病気で病院を受診している人が多いのかを示したグラフです。高血圧が最も多いことがわかります。多くの高脂血症、心疾患といった生活習慣病の人が多いという事は、それらの病気の合併症の腎臓疾患や虚血性疾患、脳疾患も多いということになります。そのため、生活習慣病の予防



て、国の37万3千78円と比較しても高いことがわかります。また、医療費がどのような病気に使われているのか、診療報酬明細書から分析したところ、狭心症・心筋梗塞などの心疾患や脳出血など、生活習慣に起因する病気に高額の医療費が使われていました。特に福智町は人工透析の患者が多いのも特徴です。

健診の内容が変わります

健診は今まで「老人保健法」に基づき、生活習慣病（心疾患、脳血管疾患、高血圧、糖尿病など）の早期発見・早期治療を目的に行われてきました。

平成20年4月からは伸び続ける医療費対策の一環として「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目した健診（特定健診）と健診後の保健指導（特定保健指導）が医療保険者（国民健康保険や健康保険組合など）に義務付けられます。

健診は医療費の無駄遣いではありません

健診は病気を発見するだけのものではありません。健診を受けて自分の健康状態をチェックし、生活習慣病の予防に努めましょう。

生活習慣病を早期に予防することで、糖尿病やその後の人工透析などの病気に進むことを防ぐことができます。そのことが、結果的に医療費の節約にもつながるのです。

わんぱく力士九州大会へ 杉虎乃介くん相撲県大会銅メダル



↑「がんばったごほうび」のメダルを手にニコリ。

初出場で銅メダル。弁城小2年生の杉虎乃介くん(県営方城団地)が、8月5日に築上町で行われた「福岡県少年相撲選手権大会」に出場。立ち合いから一気の押しを武器に見事3位に入賞し、9月9日に鹿児島で行われる「全九州わんぱく相撲大会」の出場権を獲得しました。「学校も遊びも稽古も全部楽しい」という虎之助くん、次の目標はズバリ金メダルです。

意地を見せた下手投げ 山本翔也くん相撲全国大会ベスト30

金田中3年生の山本翔也くん(平原)が、8月5日に両国国技館で行われた「全国都道府県中学生相撲選手権大会」に出場。団体戦は予選落ちでしたが「後がない中で集中できた」という個人1回戦で、その悔しさを晴らすように埼玉県の160kgもある相手を鮮やかに下手投げ。会場を沸かして勝ち進み、ベスト30の成績を収めました。



↑さらに上を目指し、日々重ねるトレーニング。

全国大会で堂々の入場行進 金田ジュニア最優秀入場行進賞



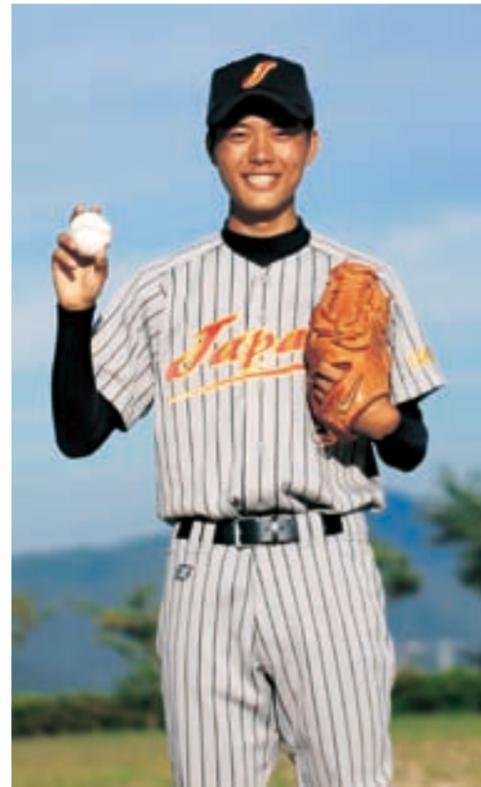
↑町長激励のお礼に、メッセージの寄せ書きを手渡す選手たち。

8月3～7日に徳島県で行われた「大鳴門橋学童軟式野球大会」に出場した金田ジュニアクラブ。試合では惜しくも敗れましたが、開会式での整然とした動作が他チームの模範となり、最優秀入場行進賞が贈られました。

本場アメリカのマウンドで

藤本章文くん日米親善野球大会出場

「相手は、選球眼も良く、甘い球を見逃さないで1球たりとも気が抜けませんでした」と、対戦した打者の感想を語ったのは、藤本きょうだいの末っ子、藤本章文くん(金田中3年・神崎)。7月23～31日にアメリカのカリフォルニア州で行われた「日米親善少年野球大会」に県のボーイズリーグ福岡県北支部代表としてマウンドに立ちました。投手として、世界大会に出場するカリフォルニア選抜チームの強打者と対戦。「今回の遠征では、引き分けをはさむ3連敗でしたが、アメリカのすばらしいグラウンドや世界レベルの野球など、一生の思い出に残るような体験ができました。この遠征に参加させてくれた両親に感謝し、これからも野球に励みたいです」と、すがすがしい笑顔で今回の海外遠征を振り返りました。



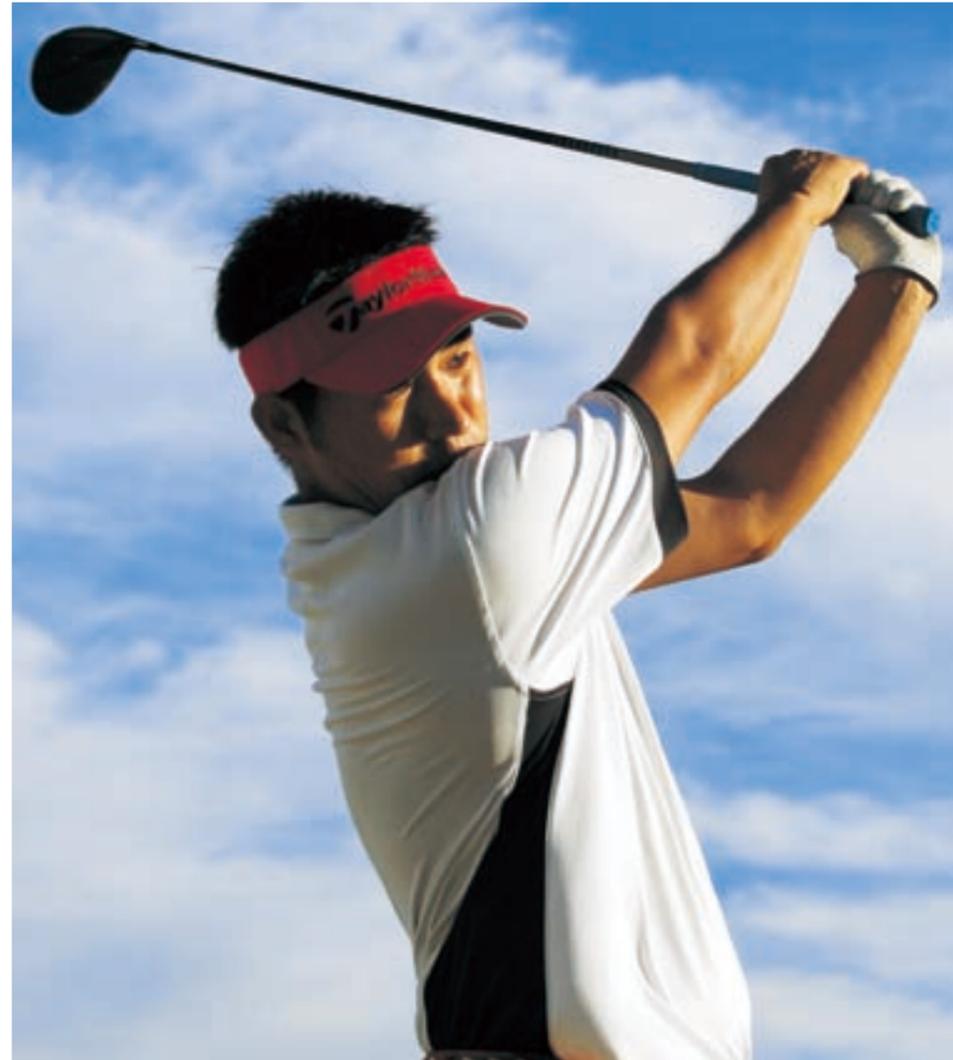
↑「身が引き締まる思いがした」という JAPAN のユニホーム。

と 翔べ。福智のアスリート

SPORTS

己の技や心を磨き、目の前の相手や自分自身との戦いに打ち勝った選手たち。

この夏、福智町を飛び出して、大舞台でさらに大きく羽ばたいた
まちのアスリートの活躍を紹介します。



平常心で臨む一打

藤本幸宗さんが国体選手に

藤本幸宗さん(22歳・神崎)が、ゴルフの福岡県代表に選ばれ10月5・6日に、秋田県で行われる国民体育大会成年男子の部に出場します。お姉さんの影響で高校1年からゴルフを始め、7年目で福岡県代表の座をつかんだ藤本さんは8人きょうだいの3番目(長男)。藤本きょうだいは、4番目の悠介さん(幕下東60枚目の藤本力士)をはじめ、それぞれがスポーツの各分野で活躍しています。「ゴルフはメンタルのスポーツなので集中力を切らさないように平常心を心がけています。代表として恥ずかしくない成績を残したい。きょうだいみんなに刺激を与えられたらうれしいです」と意気込みを語りました。



↑自宅でのアプローチショットのチェック。
←300ヤード越えが魅力の豪快なスイング。

中体連結果

筑豊地区中学校体育大会

(順不同・敬称略)

勝)名嶋恵子「3位」有吉百合子◇敗者復活戦男子「優勝」中西秋雄◇敗者復活戦女子「優勝」松島正子 ◆水泳◇一般「優勝」福智町◇青年「優勝」福智町◇壮年「2位」福智町◇総合「優勝」福智町 ◆ゲートボール◇「2位」福智町(赤池) ◆バスケットボール◇女子「2位」福智町



↑大会報告で、浦田町長を表敬訪問した方城中男子バスケット部。

郡体結果

スポーツフェスタたがわ 第46回田川郡民体育大会

(順不同・敬称略)



↑団体個人ともに、優秀な成績を収めた男女剣道。

◆剣道◇総合「2位」福智町◇一般男子「優勝」福智町◇青年男子「3位」中尾文弥◇一般男子初段「3段」2位「和田淳」◇一般男子6段「7段」2位「田中浩二」3位「池長和美 中山正和」女子「2位」田島佳奈 ◆ソフトボール◇壮実年「2位」福智町(赤池) ◆硬式庭球◇総合「優勝」福智町 ◆インディアアカ◇一般男子「3位」福智町 ◆弓道◇総合「優勝」福智町◇男子団体「優勝」福智町◇女子団体「優勝」福智町◇壮年男子「優勝」福智町◇一般女子「優勝」福智町 ◆卓球◇団体「優勝」福智町◇一般男子「優勝」日高景年「3位」森宏太郎◇一般女子「優勝」

**台風5号上陸
自主避難66人 伊方小斜面も崩落**

8月2日の夜に強い台風5号が上陸、九州・四国を暴風域に巻き込みながら勢力を保ち北上しました。福智町では、本庁、中央公民館、金田分館、方城分館、コスモス保健センターの5か所に66人（30世帯）が自主避難。風雨が強まるなか、不安な一夜を過ごしました。幸い、けが人は出ませんでした。法面の崩落など数件の被害を及ぼしました。



↑グラウンドの斜面が崩落した伊方小学校、翌日の3日に町消防団が応急処置。

↓守備側が連なって作った馬を、攻撃側が跳びのって壊すゲーム「馬乗り」。



**昔 児童センター夏休み特別企画
なつかし遊びの達人**

元気にこまを回したり真剣に折り紙をする子どもたち。8月24日に方城児童センターで夏休み特別企画が行われ、約30人の児童が参加。けん玉やあやとりなどの昔ながらの遊びを指導員たちと一緒に楽しみました。12種類の遊びそれぞれに課題が設けられていて、そのうち10以上をクリアできた参加者には「遊びの達人」の免許と称号が与えられました。

可燃ゴミ7トン 不燃ゴミ200kgを収集

8月5日に「金田神崎地区第1回環境美化運動」と「方城地区町内一斉清掃」が行われました。各地区でボランティア袋を手にしたみなさんが、空き缶などを丁寧に収集。この日、燃えるゴミ約7トンと燃えないゴミ約200kgが集められました。地域によっては、草刈りなども行われ、お盆の帰省シーズンを前に、スッキリした景観を取り戻しました。



↑子どもから大人までの共同作業で、地域がピカピカになりました。

↓加藤さんが愛用している電動車いすを金田保育園の年長園児が体験。



**障がい乗り越え名古屋市出身加藤さん
日本縦断で福智入り 園児とふれあい**

右脚の障がいに負けず「命の尊さと福祉の充実を世の中に訴えたい」と、徒歩や電動車いすで日本縦断している名古屋市出身の加藤清行さんが、8月16日に福智町入りしました。この日、加藤さんは役場に立ち寄ったあと、金田保育園の年長園児19人と交流。障がい者の視点をはじめ、日本縦断を決意したときの思いなどを伝えました。

↓厳かな雰囲気の中、往事に思いをはせながら祭主として献花する浦田弘二町長。



**福智町合同慰霊祭
ふるさと発展の思いを胸に**

8月25日に公民館金田分館で戦没者・炭坑殉職者・物故者の合同慰霊祭が社会福祉協議会の主催でしめやかに行われました。参列した約120人が黙とうをささげ、同会会長の浦田弘二町長が「地域に尽きた皆さまの力を引き継いでいきます」と失われた尊い命への感謝を込めた祭文を読み上げました。厳粛な雰囲気の中、参列者たちは町の礎を築いた先人への思いを胸に、これからの平和と町の発展を願いながら白い花を敷き詰めた祭壇に献花しました。

**平成19年度福岡県観光功労者表彰
虎尾桜の保護活動に団体で唯一の表彰**

本年度の福岡県観光功労者表彰に「虎尾桜を心配する世話人会」が選ばれ、8月1日に県庁で表彰されました。同会は平成元年に推定樹齢600年のエドヒガン「虎尾桜」を発見。枯死寸前の状態を献身的に治療し、周辺整備や広報活動を積極的に行いました。今回、観光資源の保護と環境美化の功績が評価され、団体では唯一の表彰を受けました。



↑表彰を受ける熊谷信孝会長。個人で8人、団体では唯一の観光功労者表彰。

↓親子連れも多数参加、親善大会ということで順位なしの交流を楽しみました。



**三世交代交流グラウンドゴルフ大会
ナイターの照明浴び500人がプレイ**

異世代間交流と町内の親睦を目的としたグラウンドゴルフ大会が、7月31日に開催されました。教育委員会の主催で子育て連が後援し、およそ500人が参加。予想以上の人数に金田スポーツ公園と方城グラウンドの2会場に分け、ゲームが進められました。両会場とも幅広い年代のみなさんがナイターの照明を浴びながら、ホールポストを目指しました。

収益金の一部を新潟県中越沖地に震災義援金

新潟県中越沖地震の被災地復興に役立てて欲しいと、格闘技イベント「我武者羅」を主催する宇野孝一さん（金田）から、今年4月に福智町で開催したイベント収益金の一部が寄贈されました。8月17日に来庁し、浦田弘二町長に義援金3万円が手渡されました。

→義援金は町を通じて送金します



こまたに はると
駒谷 悠人くん 1歳
平成18年9月18日生まれ
(上野 今屋敷・男の子)



おく よしのぶ
奥 義靖くん 1歳
平成18年9月13日生まれ
(井城 草場・男の子)



わだ しおん
和田 紫穂くん 1歳
平成18年9月6日生まれ
(金田 宝見・男の子)



あさべ しんや
朝部 慎也くん 1歳
平成18年9月5日生まれ
(伊方 中原・男の子)



なりきだ ゆい
成定 優衣ちゃん 1歳
平成18年9月2日生まれ
(赤池 赤池NT・女の子)



総流派ジュニア団体戦・新人戦空手道選手権大会

拳成館（本部・伊方）主催の「第4回総流派ジュニア団体戦空手道選手権大会」と「第8回総流派ジュニア新人戦空手道選手権大会」が7月15日に田川市総合体育館で開催されました。団体戦では主催道場である拳成館Aチームが4連覇という快挙を成し遂げ、拳成館Bチームも3位入賞を果たしました。
【優勝Aチーム】 先鋒：焼山巧雅くん・次鋒：小山九十九くん
 中堅：香月海優くん・副将：山口達真くん・大将：香月海輝斗くん
【3位Bチーム】 先鋒：河津聖也くん・次鋒：石松 和くん
 中堅：焼山大雅くん・副将：山中聡京くん・大将：笹栗滉人くん
 新人戦は15クラスに326人の選手が出演。念願の初優勝を目指し数々の熱戦が繰り広げられました。拳成館の選手も練習の成果を発揮し、次のとおり好成績を残しました。
【優勝】 小1の部：河津聖也くん・小5の部：久富裕次郎くん
 小1～2女子の部：石井佳奈さん
【準優勝】 小3の部：山中隼世くん・小6の部：安岡健人くん
【3位】 小6の部：永野飛竜くん・中2の部：村田倬亮くん



たつし ま ひかり
辰島 光くん 2歳
平成17年9月17日生まれ
(金田 平原団地・男の子)



こまつ ゆうしん
小松 優心くん 2歳
平成17年9月15日生まれ
(上野 大浦団地・男の子)



さかき しゅうすけ
榊 秀介くん 2歳
平成17年9月13日生まれ
(伊方 東古門・男の子)



こうの みなみ
幸野 心愛美ちゃん 2歳
平成17年9月11日生まれ
(赤池 東町・女の子)



たむら ひなた
田村 姫奈夕ちゃん 2歳
平成17年9月7日生まれ
(神崎 福丸・女の子)



うらた ゆな
浦田 侑奈ちゃん 1歳
平成18年9月20日生まれ
(上野 大谷・女の子)



かく ひろき
加来 博貴くん 3歳
平成16年9月26日生まれ
(金田 宝見・男の子)



いのうえ もも
井上 萌央ちゃん 3歳
平成16年9月20日生まれ
(伊方 古門団地・女の子)



ながはら いつみ
永原 一樹くん 3歳
平成16年9月14日生まれ
(井城 岩留団地・男の子)



さかもと ゆうだい
坂本 雄大くん 3歳
平成16年9月2日生まれ
(金田 新町3・男の子)



かわかみ ゆうり
川上 優凜ちゃん 2歳
平成17年9月30日生まれ
(赤池 板尾団地・女の子)



さかがみ りくと
讃岐 陸士くん 2歳
平成17年9月24日生まれ
(金田 東金田・男の子)

カローリング大会に参加しました

田川郡母子寡婦福祉会の主催による「カローリング大会」が7月22日に香春町体育センターで開催されました。福智町母子寡婦福祉会から、会員のみならず10人が参加。標的のゾーンに向かってジェットローラーを滑らせ、楽しいひとときを過ごしました。



←親睦を深めたカローリング大会

食進会が「食育の日」をカナダフェスタでPR

食進会の名で知られる福智町食生活改善推進会（赤熊敏子会長）が、8月4日に開催されたI LOVE カナダフェスタの新町通り商店街で「食育の日（毎月19日）」をPR。食育の大切さを知り、健康的な食習慣を身につけて欲しいと、街頭でチラシを配布しました。



→商店街で一人ひとりに呼びかけ

赤池スタンプ会の納涼ビアガーデン

お買い上げ時に特典のあるカモメスタンプを配布している赤池スタンプ会（赤池町商工会の加盟店で構成）主催の納涼ビアガーデンが8月25日に開かれました。ビールもおつまみも破格値サービスで約500人が来場。カモメスタンプの抽選会も大盛況でした。



→にぎわった赤池商工大会前の会場

野島塾からも優勝

新人戦では実戦空手古武道塾野島塾（上野）からも初優勝者が誕生しました。
【優勝】 小2の部 和田 拓くん

隣保館・みのり句会 池田一步選

濡縁に流るる星や夜の秋
 炊仕事腰を伸ばせば秋の風
 夕風に木槿の花もたたみけり
 竜胆に似たる姿の女かな
 椰子の葉の遠き思ひ出古風
 地を叩く雨の音して豆台風
 研して威を放ちをり威銃
 孫去んで寂しき広き秋風鈴
 目の合ふて逃げる気の無き蜥蜴かな
 羅の一際目立つ棧敷席

亀谷千恵子
 宇野八重子
 寺内ノブエ
 田口さとし
 森 玲子
 白石 幸子
 小場 妙子
 丸山 鈴子
 吉田 弘
 安田 健一

福智町金田公民館俳句教室 岩井鬼童選

夏深し青銅の馬声もたず
 物干しの風のカラフル梅雨明くる
 想ひ出の音をころがしラムネ飲む
 今日のことこれで終りの冷奴
 海紅豆一船もなき海の紺
 龍の栖む湖蒼々と夏深む
 木々渡る風心地良き晩夏かな
 飛行雲南へ伸びて海紅豆
 顔ばせは仏に似たり昼寝の子
 晩夏光私にくすり赤白黄

日比生利子
 永尾喜美江
 建部三由紀
 松岡 薫枝
 香月 富子
 長副美恵子
 迫田 昌子
 今井三千代
 小川 雪
 花石かほる

方城句会 池田一步選

草を引く朝の匂ひの中にか
 波の音袂に入れて盆踊
 病む妻の平癒茅の輪をくぐりつ、
 手話の指濡らす涙や原爆忌
 墓洗う昭和に賭けし命かな
 戦争の暗き記憶や百日紅
 剪定の手元狂はす蛇の衣
 銀翼の機影あらはれ雲の峰
 それなりに家事をこなして暑に耐ふる
 庭に生る虫食ひ桃の匂ふかな

野村 鈴子
 尾崎 和子
 藤井耿之介
 松本美根弥
 白石 鶴代
 桑野 昌宣
 白石 凡子
 渡辺 一枝
 永末 公恵
 杉 フジエ

福智町金田短歌教室詠草

あまたなる螢飛び交ひ川の面を奇なす光うつろひにつつ
 ゆつたりと福智の山は五月晴れいたたく空も澄み渡るなり
 長き首すつと伸ばして白鷺の緑さゆらぐ早苗田にたつ
 何処より忍びて来しや蒸し暑き梅雨の一日を涼風の吹く
 今年また去年の名残の帯を見し柿の若葉のいとやさしきよ

加治 智子
 藤野もと子
 三村 和子
 白石 信子
 辻田 幸也



→福田夏乃さん(東金田)の作品。「真夏の太陽を気持ちよさそうに浴びているヒマワリを描きました」



←吉田葵さん(金田新町)の作品。「海の中でさかなたちと楽しく遊んでいるところです。板と段ボールで作業しました」

▶ 絵や写真、手芸、工作など、みなさんの力作を紹介します。
 〒 822-1292 福智町金田 937 番地 2 福智町役場企画課広報広聴係 まで
 作品を郵送または持参してください。多数の場合は抽選になります。

Disease prevention ▶ No.13
 ふくちの健康
 お悩み相談所

離乳食で注意したらよい点を教えてください。

A 生後4～6カ月頃になると、スプーンからの食べ物の取り込みが可能となり、離乳食が開始できます。

まずは、味が濃いものを避け、だしをかかせた自然の味に慣れさせましょう。初めから、たくさん種類をあげる必要はありません。嫌がっても根気よく少しずつあげていくことが大切です。もちろん母乳もやめる必要はありません。次に、上下の奥歯が生えそろうまでは、硬いものは避けましょう。形はあるが軟らかい食品、例えばおでんの大根や煮込みハンバーグなどがよいでしょう。そうすることで、かまない、丸呑みをする、硬いものが嫌いになる、偏食などの食習慣や将来の肥満の予防になります。生えそろうたらかみつぶしができるようになるの



で、それほど硬くない食品、例えば卵焼き、コロケなども食べられるようになります。もち、たこ、こんにゃくなどのかみにくいものは3歳過ぎまで控えましょう。

家族で一緒に楽しく食べることが食育の第一歩です。唾液の分泌が促進され、食べ物が食べやすくおいしくなり、よくかんで味わって食べるようになります。

コーナー担当医：方城診療所 牟田広実副所長

健康に関するお悩みにアドバイスします。企画課広報・広聴係まで電話かメールでお気軽にお寄せください。☎ 22-7766 s.kouhou@town.fukuchi.lg.jp

児童センター

今年の夏もたくさんの子どもたちが遊びに来てくれました!

今回の夏休みには、1,698人の子どもたちが児童センターに訪れました。



↑8月4日、親子料理教室にたくさんの親子が参加。楽しいひとときを過ごしました。

岡 福智町方城児童センター
 開館時間 9:00～18:00 ☎ 22-7403
 休館日 毎週 四、第3回

子育て支援センター

9月の行事予定

- いずれも10:00受付/10:15開始です。
- 6日 困 * サロンで遊ぼう (シャボン玉遊び)
- 13日 困 * 誕生会
赤い風船の会の方々には絵本の読み聞かせをしていただきます。
- 20日 困 * 親子リズム遊び
楽器や遊具を使って音楽に合わせて楽しく動く親子のふれあい遊び。0歳児から参加できます。
- 27日 困 * ミニ講座
テーマ「ルンルン♡マタニティライフ」
助産師さんによる赤ちゃんの能力の能力を知ることにより母となることの喜びを発見し楽しみながら子育てできるという内容で貴重なお話しをしていただきます。これから親になる方、子育て中の方たくさん参加をお待ちしております。

岡 地域子育て支援センター
 サロン開放時間 10:00～15:00 ☎ 22-2401 休館日 田、日、祝

情報ひろば

水道料金納入は忘れなく 福智町役場水道課

水道事業はみなさんの水道料金で運営しています。健全経営のためには、料金の完全納入が絶対条件です。転出・転居・名義変更・使用開始・使用廃止・使用再開・使用一時休止などの変更が生じた場合は、必ず届出をいただくと同時に、水道料金の納入は忘れのないようお願いいたします。

なお、水道料金が未納となっている場合には、納付期限内に必ず納入してください。万一、納入なき場合は福智町水道条例に基づいて給水停止を行うことになります。

☎ 福智町役場水道課 ☎ 22-7769

人権擁護委員の委嘱と表彰 福岡法務局

▶福智町で人権擁護委員として次のかたが法務大臣から委嘱されました。

再任 吉田 伸宏 委員 (金田)

新任 本田 美津江 委員 (伊方)

▶また、多年にわたり人権擁護活動に尽力した人への表彰が、5月25日に福岡市で行われ、福智町から次の人権擁護委員が表彰されました。

福岡県人権擁護委員連合会長表彰

渡邊 一枝 委員 (伊方)

福岡法務局長感謝状

荒木 完治 委員 (赤池)

補聴器相談 福智町役場福祉課福祉係

日時 9月14日 9時～10時

会場 福智町本庁舎

日時 9月10日 13時～14時

会場 福智町方城支所

日時 9月10日 15時～16時

会場 福智町赤池支所

☎ 福智町役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763

心配ごと相談 福智町社会福祉協議会

9月15日 9時～10時、司法書士による特別相談を実施します。相談料は無料です。

① 日時 9月1日 10時～15時

会場 赤池コスモス保健センター

② 日時 9月8日 10時～15時

会場 方城福祉会館

③ 日時 9月15日 10時～15時

会場 金田社会福祉センター

☎ 福智町社会福祉協議会 ☎ 22-6631

日王わくわく物産館出品者募集 日王わくわく物産館利用組合



日王わくわく物産館 (ふるさと交流館日王の湯敷地内) の利用組合では、地元農産物生産者の出品を募集しています。

委託販売手数料は商品価格の15%と別途バーコードシール代が必要です。ご希望のかたは年間会費3千円を添えてお申し込みください。詳細はお問い合わせください。

☎ 日王わくわく物産館 (矢野篤美さん)

☎ 22-7447 (定休日は毎週水曜日)

人権に関する相談所と相談電話 福岡法務局

▶福岡法務局飯塚・田川・直方支所および飯塚・田川・直方人権擁護委員協議会では、子どもの人権、同和問題に関する相談所を開設します。弁護士・公証人などが対応し、相談料は無料、秘密は厳守されます。

日時 10月2日 10時～15時

場所 直方中央公民館

☎ 福岡法務局直方支所

☎ 0949-22-1144

▶子どもに関する人権の相談電話を設置します。法務局職員と人権擁護委員が対応し、相談料は無料、秘密は厳守されます。

日時 9月17日 8時～23日 8時

8時30分～19時 (土日10～17時)

相談電話 ☎ 0120-007-110

強化週間以外でも受け付けています。

☎ 福岡法務局田川支所 ☎ 44-1426

家庭介護介助者養成講座 麻生教育サービス

【安全な介護の方法】 受講無料

10月14日 直方市中央公民館

10月16日 福智町コスモス保健センター

10月28日 田川青少年文化ホール

【用具の活用と住環境】 受講無料

10月13日 直方市中央公民館

10月18日 福智町コスモス保健センター

10月27日 田川青少年文化ホール

募集人員 各コース20人 (先着順)

☎ 麻生教育サービス ☎ 092-432-6266

ほのぼの介護予防教室 福智町方城在宅支援センター

内容 お口と病気の関係

日時 9月26日 9時50分～11時15分

場所 福智町方城保健センター

受講料 無料 (どなたでも参加できます)

☎ 福智町方城在宅支援センター

☎ 22-6556

福智町母子寡婦福祉会のイベント 福智町母子寡婦福祉会

福智町母子寡婦福祉会主催の「絵手紙勉強会」と「日帰りバス旅行」を開催します。

【絵手紙勉強会】

日時 9月21日 9時30分～12時

場所 福智町公民館方城分館

講師 長副 博臣 先生

絵の具、ハガキなどは母子寡婦福祉会で準備します。参加料は無料です。

【日帰りバス旅行】

日時 10月28日 参加料1000円程度



行先 大分県豊後高田市

※ 同会では会員を募集しています。

申し込み問い合わせ先 福智町母子寡婦福祉会会長 泉保子さん ☎ 22-0830

雇用保険の受給資格要件が変更 福岡労働局職業安定部職業安定課

雇用保険法が改正され、今年10月1日以降に離婚した人の雇用保険受給資格が変わります。詳細はお問い合わせください。

☎ 福岡労働局職業安定部職業安定課

☎ 092-434-9803

キャリア形成支援説明会 (独)雇用・能力開発機構福岡センター

日時 9月20日 13時30分～

場所 ウェルとばた (北九州市)

内容 創業や経営基盤強化に役立つ労働者を雇用する事業主に助成金の支給などで支援します。詳しくはお問い合わせください。申し込み問い合わせ先 雇用・能力開発機構福岡センター ☎ 092-262-2113

新潟県中越沖地震義援金 日本赤十字社・福智町役場福祉課福祉係

新潟県中越沖地震被災地への義援金を受け付けています。みなさんのご協力をお願いします。受付口座は郵便振替です。

受付期限 平成20年1月16日 閉

口座番号 00510-5-26

名義 日本赤十字社新潟県支部

通信欄に「新潟県中越沖地震」と明記してください。受領書の発行をご希望の場合は、その旨を通信欄に記載してください。なお郵便局窓口での取り扱いは、振込手数料が免除されます。

☎ 福智町役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763

外国人のための日本語教室 日本語クラブ田川

日本語と一緒に学びませんか? 外国人のための田川日本語教室がスタートします。

日時 10月13日 10時～11時30分

(毎月第2・4土曜日) 参加費1回200円

会場 福岡県立大学生涯福祉研究センター

☎ 日本語くらぶ田川 (林研究室)

☎ 42-1778 (専用電話080-6440-9922)

2008年版 福岡県民手帳の受付 福智町役場企画課企画係

福岡県および市町村の観光施設や催し、案内図、人口などの統計データや各種情報が掲載された2008年版「福岡県民手帳」の申し込みを受け付けます。

▶ポケット判450円 (高135mm×幅73mm)

▶標準判550円 (高162mm×幅84mm)

▶ハンドブック判950円 (210mm×150mm)

受付期限 10月15日 閉

受付場所 福智町役場企画課・赤池支所地域振興課・方城支所地域振興課

受付方法 各受付場所にある申込用紙に住所、氏名、連絡先等を記入し、提出ください。

配布方法 申し込み場所で代金と引き換えにお渡しします。(配布予定時期12月上旬)

☎ 福智町役場企画課企画係 ☎ 22-7766



福岡県巡回交通事故相談 福岡県交通事故相談所

交通事故でお困りの人はお気軽にご相談ください。弁護士による相談も無料です。

日時 9月18日 10時～16時

受付は15時まで・秘密厳守

会場 田川市役所 (市民課) ☎ 44-2000

☎ 県交通事故相談所 ☎ 092-622-0403

不妊治療等支援事業 田川保健福祉環境事務所

県では、不妊に悩むご夫婦に対する不妊治療費の助成と相談事業を行っています。

▶不妊治療費の助成期間が通算5年度 (年度の間隔があいても大丈夫です)

▶体外受精・顕微受精治療助成 (採卵に至らない場合は対象となりません)

▶治療費の一部助成 (年度の上限度額10万円) 治療の終了した日の属する年度内 (3月31日) までに申請してください。

詳しくはお問い合わせください。

☎ 田川保健福祉環境事務所 ☎ 42-9315

法の日全国一斉司法書士法律相談 福岡県司法書士会

相続登記や会社設立などの登記相談、消費者問題、多重債務問題、訴訟、成年後見など、お気軽にご相談ください。相談は無料 (予約者優先)、秘密は厳守されます。

日時 10月6日 10時～16時

会場 ① 嘉麻市山田生涯学習館

② 苅田町中央公民館

受付期限 10月5日 閉 ☎ 44-2530

詳しくはお問い合わせください。

☎ 福岡県司法書士会筑豊支部事務局

☎ 45-3996

母子家庭のためのパソコン講習会 福岡県母子寡婦福祉連合会

内容 パソコン操作 EXCEL 集中講座

場所 クローバープラザ (春日市)

日時 11月7日 8日 9日 14日 15日 16日 21日 22日

18～21時 (受講無料・資料自己負担)

応募期限 9月28日 必着

定員 20人 (受講資格や選考方法など、詳しくはお問い合わせください)

申し込み書配布先 福智町役場福祉課福祉係

および県保健福祉環境事務所保健福祉課

申し込み問い合わせ先 母子家庭等就業・

自立支援センター ☎ 092-584-3931

福岡県水泳選手権大会



映画・テレビで話題となったウォーターボーイズのチームが福智町にやってきます。ぜひ、B&G 町民プールで、心に残る演技をご覧ください。

とき **9月9日**

入場料 無料

場所 福智町 B&G 海洋センター

内容 男子シンクロナイズド

スイミングショー

時間 1回目: 13時～

2回目: 14時30分～

チーム名 INDIGO BLUE



【インディゴブルー】2006年4月、フジテレビ主催全国大会出場者で構成されたチームです。男子シンクロ競技が規模縮小される中で、その魅力を広め、芸術競技として広く認識されるよう全国で活動しています。

☎ 福智町 B&G 海洋センター

☎ 22-5868

就業構造基本調査

福智町役場企画課企画係

総務省統計局（福岡県・福智町）では、10月1日に就業構造基本調査を実施します。この調査で、国民のふだんの就業・不就業の状態を詳細に把握することにより、雇用政策をはじめ、経済政策などに必要な情報を提供します。9月下旬に統計調査員が対象になった世帯へ伺いますので、ご協力をお願いいたします。

福智町役場企画課企画係
☎22-7766

介護予防アプローチ

（社）福岡県介護福祉会

高齢者の身体や精神機能が低下している人へのアプローチなど、実践例を踏まえた専門的手法を学びませんか。詳細はお問い合わせください。

日時 9月22日（土）13時～
場所 福智町公民館金田分館
会場 会員・賛助会員・学生は無料
非会員は2千円
応募期限 9月15日（日）
（社）福岡県介護福祉会事業部
☎0941-47417015

障害者雇用促進面談会

ハローワーク田川

障害を持つ人と企業が一堂に会して面接を行う障害者雇用促進面談会を開催します。参加無料、希望者は

子犬の譲渡会・事前説明会

田川保健福祉環境事務所

▼子犬の譲渡会
日時 9月26日（日）13時受付

場所 田川保健福祉環境事務所
内容 子犬選びおよび講習会
対象 事前講習会を受講した人
▼犬を飼う人のための事前講習会
日時 9月19日（日）13時30分～

場所 田川保健福祉環境事務所
内容 あなたは本当に犬が飼えますか？子犬を迎える準備／自己診断によるチェックとカウンセリング
申し込み問い合わせ先
田川保健福祉環境事務所衛生課
☎42-93009

ワークショップ参加募集

福智町中央公民館

ヒップホップダンスやストリートダンスのワークショップ（全4回）の参加者を募集します。

①「ストレスフリーのためのヒップホップ」定員40人
対象 楽しく運動不足とストレス解消したいかた。子どもから大人まで、初心者のかた大歓迎です。
②「JAM LOOP」定員20人
対象 12歳以上でストリートダンスに興味があるかた。未経験者のかたにもリズム取りからお教えします。
参加費（全4回分）
子どもから大人まで一律1人2千円。ペアで参加のかたは1人1千円。

子犬の譲渡会・事前説明会

田川保健福祉環境事務所

場所 福智町赤池体育センター（旧赤池町勤労者体育館）
申し込み期限 9月21日（金）
ワークショップ開催日

第1回 10月7日（日）19時～21時30分
第2回 10月8日（月）10時～12時30分
第3回 10月21日（日）19時～21時30分
第4回 10月28日（日）19時～21時30分
申し込み問い合わせ先
福智町中央公民館 ☎22-41000



講師は関東でも活躍したファンクマスターの田中未来先生。初心者も大歓迎です。

再就職サポートセミナー

福岡県筑豊労働福祉事務所

妊娠・出産・介護などの理由で退職し、再就職を考えている人のための無料セミナーを開催します。
日時 9月25日（日）・26日（月）

救命講習会の開催

田川地区消防署

▼普通救命講習会（受講無料）
日時 9月30日（日）9時～12時

場所 田川地区消防本部
対象 田川市郡内にお住まいか、田川市郡内で働いている15歳以上の人
定員 50人（定員になり次第締切）
申し込み期限 9月22日（日）
▼上級救命講習会（受講無料）
日時 10月13日（日）・14日（月）9～18時
場所 田川地区消防本部
対象 田川市郡内にお住まいか、田川市郡内で働いている15歳以上の定員 各日50人（先着順）
受付期間 9月10日（日）～10月2日（日）
申し込み問い合わせ先
田川地区消防署 ☎44-0650
金田分署 ☎22-03007

危険物取扱者試験

（社）田川地区防災協会

▼危険物取扱者試験
試験日 11月25日（日）

場所 飯塚コミュニケーションセンター
講師 「1日目」フェミニストカウンセラー・富永明子さん 「2日目」ママのための情報誌「ドンナママ」編集長・谷美紀さん（定員30人）
託児 無料（9月13日までに要予約）
福岡県筑豊労働福祉事務所
☎0948-221681

無料調停相談会

田川調停協会

財産をめぐる問題や夫婦間の問題など家庭的な悩みごとでお悩みの方はお気軽にご相談ください。裁判所から任命された調停委員がご相談に応じます。相談料は無料、秘密は厳守されます。
日時 9月28日（日）10時～15時
場所 田川市役所1階大会議室

土地家屋調査士会無料相談

福岡県土地家屋調査士会

福岡県土地家屋調査士会では「法の目」を記念し無料相談会を開催します。お気軽にご相談ください。
日時 10月6日（日）10時～16時
会場 田川市民会館
内容 境界問題、分筆、合筆、地積更正、新築、測量、登記手続きなど
福岡県土地家屋調査士会田川支部
☎42-12300

試験会場 近畿大学産業理工学部他

受付 9月20日（日）～10月5日（日）
申し込み方法 消防試験研究センター・福岡支部へ持参または郵送
▼受験準備講習会
日時 11月11日（日）
種類 乙種第4類・丙種
場所 田川地区消防本部講堂
受付 9月20日（日）～11月9日（日）
申し込み方法 田川地区消防本部内
田川地区防災協会まで持参
詳しくはお問い合わせください。
田川地区消防本部予防課
☎44-62566

福岡県立大学公開講座

福岡県立大学

内容 生活に役立つカウンセリング
日時 9月22日・29日・10月6日・20日・27日の各土曜日 14時～16時
場所 福岡県立大学
参加費 2千円
受付期限 9月14日（日）
福岡県立大学教務企画係
☎42-2118

自衛官等採用試験

自衛隊福岡地方協力本部

防衛大学校学生・防衛医科大学校学生
▼高卒（見込含む）21歳未満の看護学生
▼高卒（見込含む）24歳未満の人。詳細は問い合わせください
受付期間 9月7日（日）～28日（日）
自衛隊飯塚地域事務所
☎0948-2214847

相続は遺言公正証書で

田川公証役場

10月1日（日）～7日（日）は公証週間です。遺言相続などの相談は田川公証役場で毎日（土日・祝日を除く）9時30分～15時30分まで応じています。相談料は無料、秘密は厳守されます。
田川公証役場 ☎44-41330

秋の交通安全県民運動

田川交通安全協会

期間 9月21日（日）～30日（日）
重点目標 ▼高齢者の交通事故を削減

自賠責保険に加入お願い

国土交通省九州運輸局

自賠責保険は、交通事故での基本的な対人賠償を目的として、バイク・原動機付自転車を含むすべての自動車の保有者に加入が義務付けられている強制保険です。無保険車の運行は罰則の対象になります。特に車検制度のないバイク、原動機付自転車は「期限切れ」「かけ忘れ」のないようしてください。
国土交通省九州運輸局福岡運輸支局
☎092-6731191

平筑まくらぎオーナー募集

平成筑豊鉄道（株）

平成15年度から始めたへいちくの「まくらぎオーナー」も、駅から見える場所への設置可能本数1千本まで



男女が共に歩むまちは… あすばる出前講座inふくち

福岡県男女共同参画センター「あすばる」の出前講座を福智町で3回にわたり開催します。1回目の講演会は9月22日（日）。女性議員がどんな活動をし、どんな役割をしているのか、お話を聞いてみませんか。お問い合わせの上、ぜひご参加ください。
主催 ゆいネットワークふくち
託児および手話通訳 あり
【第1回講演会】参加無料
日時 9月22日（日）13時30分～
場所 福智町公民館方城分館2階
講師 大野城市議 清水純子さん
テーマ 「女性議員の役割と男女共同参画」（講師は、大野城市議会議員4期の中に、男女共同参画・高齢者福祉・子育て支援・環境問題などに取り組み、実績をあげています）
【第2回講演会】参加無料
日時 10月27日（日）13時30分～
場所 福智町公民館金田分館
講師 北九州市教委選任講師、NHK・毎日文化センター講師 三輪純子さん
テーマ "思い知ったか"女の気持ち、男の気持ち（著書タイトル）
【第3回講演会】参加無料
日時 12月もしくは1月の開催予定
場所 福智町中央公民館
講師 人権擁護委員会連合会事務局長、エイズ相談員 木村紀代子さん
テーマ 男女共同参画と女性の人権
ゆいネットワークふくち（香月美津子さん）☎22-0691
福智町役場企画課企画係
☎22-7766（後援：福智町）

年金記録問題への徹底した対応が行われ、正しく年金をお支払いできるよう対策が進められています。

お問い合わせに対する相談体制を拡充

- 年金記録照会専用のフリーダイヤル「ねんきんあんしんダイヤル」を開設
☎ **0120-657830** 24時間、土曜日・日曜日・祝日も対応
- お電話では原則として、基礎年金番号や生年月日をお尋ねし、後日、回答票が郵送されます。

社会保険事務所の窓口は、土曜・日曜・祝日も対応

- 月曜日から金曜日までの平日は午前8時30分～午後7時まで、土曜日・日曜日・祝日は午前9時30分～午後4時まで、社会保険事務所の窓口が対応しています。
- ご相談には「年金証書」「振込通知書」「年金手帳」や「健康保険証」など、ご本人と確認できるものをお持ちください。なお、委任状があればご家族のかたでもご利用できます。
- 福智町の最寄りの社会保険事務所は「直方社会保険事務所」です。
(〒822-8555 直方市知古1-8-1)

スタートした第三者委員会が公正に判断し、年金額に反映

- 確かに納付したにもかかわらず、年金記録や領収書などのないみなさんのために、本人の立場に立って公正に判断する仕組み「年金記録確認第三者委員会」がスタートしました。この判断が尊重され、みなさんの年金の額に反映されます。
- さらに、身近なところで対応できるように、全国50か所にある管区行政評価局・行政評価事務所に「地方第三者委員会」が発足。社会保険事務所で申し込みを受け付けています。

時効で消滅した年金額を回復

- 「年金時効特例法」が成立し、5年の時効が撤廃されましたので、記録の訂正による年金の増額分については、それ以前の消滅した分を含めて、全額支払われます。
- 対象となるかた
 - 1 年金記録の訂正により年金額が増えたかた
 - 2 年金記録の訂正により年金の受給資格が確認され新たに年金をお支払いすることになったかた
 - 3 上記に該当するかたが亡くなっている場合にはそのご遺族のかた
 - 4 今後、年金記録が訂正された結果、上記と同じように年金額が増えるかた
- 必要な手続き
 - 今後、年金記録が訂正されるかたは、記録の訂正の手続き以外の手続きは必要ありません。
 - すでに年金を受給開始後に年金記録が訂正されている受給者のかたには、できる限り簡単に手続きをしていただけるよう、あらかじめ必要な記載事項を印字した用紙が順次発送されます(平成19年9月～)。今すぐに手続きをしていただくこともできます。その場合、社会保険事務所に、必要な書類を提出(または郵送)してください。
- 窓口での手続きの際にお持ちいただくもの
 - 年金を受給しているかたの場合 ▶ 手続きにお越しの際は「年金証書」「振込通知書」など、基礎年金番号・年金コードが確認できるもの
 - 未支給年金を受けたことがあるご遺族が手続きをされる場合 ▶ 1 亡くなられたかたが受けていた年金の「振込通知書」「未支給年金支給決定通知書」など、亡くなられたかたの基礎年金番号・年金コードが確認できるもの 2 手続きをされるかたのご本人確認ができる身分証明書(運転免許証等) 3 振込を希望される金融機関の預金口座の通帳



イマドキの離乳食事情

ある新米ママの悩み事です。

2カ月になったら、離乳食の準備のために果汁をスプーンで与えるように姑に言われました。保健センターでは、5～6カ月ごろまでは母乳かミルクだけでいいと言われたけど、どうしたらいいのかしら…

時代が変われば離乳食も変わります。

現役ママはもちろんのこと、昔ママだった人たちも、最新の情報を仕入れて、日々奮闘している現役ママたちに的確なアドバイスができるようになります。保健師だよりでは、2007年3月に厚生労働省より出された「授乳・離乳の支援ガイド」をもとに、離乳食の進め方について数回に分けてお話していきます。



イマドキの常識①

離乳食は生後5～6か月ごろから。

以前は、生後2～3か月になったら果汁などを飲ませて離乳の準備をするようにといわれていましたが、生後5～6か月ごろになるまでは母乳またはミルクのみで十分です。

早いうちにいろいろと与えてしまうことによりアレルギーの発症と関連するとの報告もあります。これに関連して、「早めにスプーンに慣れさせておくと離乳が順調にすすむ」といわれていましたが、生後4か月ごろまではスプーンを口から押し出してしまい、苦労していたママも少なくありませんでした。これは、「哺乳反射」という正常な反応で、この時期に無理にスプーンを口に入れても押し出してしまうのは当たり前のことです。

生後5～7か月ごろになると、自然と哺乳反射による動きが少なくなり、スムーズに口にスプーンが入るようになりますので、スプーンを使うのはそれからで十分です。慣れさせるために無理にスプーンを使う必要はありません。

▼「哺乳反射」

意思とは関係ない反射的な動きで、口の周辺に触れたものに対して口を開き、口に形のある物を入れようとする舌で押し出し、奥まで入ってきたものに対してはチュチュと吸う動きをします。



イマドキの常識②

まずは果汁から… は過去の話。

離乳食はまず果汁から… というのが定番でした。しかし、果汁をとることによって母乳やミルクを飲む量が減り、たんぱく質やミネラルなどの栄養分が不足するおそれがあることから、「栄養」としての果汁をとる意味はないといわれています。果汁を与えるのが習慣になると、肥満の原因にもなります。また、お風呂上りや暑い時に果汁を与えている方も多いのですが、母乳やミルク・湯冷まし・麦茶を与えれば十分です。



離乳食についてのご相談は、コスモス保健センターの保健師・栄養士まで、お気軽にお寄せください ☎ 28-9500



まぢでいちばん愛された人。

追悼 皆川ヨ子さん

8月13日。突然届いた悲しい知らせ。世界最高齢者として、まぢの健康長寿のシンボルの存在だった皆川ヨ子さんが、17時47分に老衰のため、息を引き取りました。享年114。わたしたちに健康やかに生きることの素晴らしさを教えてくれたヨ子さんに、哀悼の意を込めて、巻末につづります。

写真：今年の1月30日、世界最高齢者になった翌朝の皆川ヨ子さん。

Event

パノラマたがわ（田川市郡のイベント情報）

【添田町】英彦山サイクリタイムトライアル大会

9月23日 10時20分～
（添田小学校スタート～英彦山豊前坊ゴール）
英彦山までの距離15*、標高差800*に挑む、自転車レースです。
☎ 添田町商工会 ☎ 82-0244

Tax

おさめて安心（9月の税納期限）

- 国民健康保険税 3期 10月1日 納期限です。
- 固定資産税 3期 10月1日 納期限です。

Population

ひとのうごき（福智町の人口）

- 人口：26,233人（前月比－33人・前年比－50人）
男性：12,448人／女性：13,785人
（転入67人・転出85人・出生16人・死亡27人）
- 世帯：11,127世帯（前月比＋12世帯）
※ 平成19年7月末現在（住民基本台帳人口）

お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長

※ 本年度から甲電をひかえさせていただきます。



FUKUCHI 編集後記

▶年を重ねるごとに輝きを増したあの笑顔。長寿世界一の朝に見せた皆川ヨ子さんの表情は、今までで一番素敵に映りました。いつかこんな日が来ると、おぼろげな覚悟はしていましたが…今はぼっかり心に穴が空いたような、そんな心境です。初めてお会いした時「ほお、大きなもん（カメラ）」と笑ったヨ子さん。その節目節目でシャッターを押すことができ本当に光栄でした。数々の思い出を写してきたこのカメラ、切なく重く、持つ手に感じています。（長野）
▶今年は大気汚染のせい？ 晴れていてもスッキリしない空ばかりで、何とかきれいに撮ろうといつも四苦八苦。まさに「カメラマン泣かせの空」でした。しかし今月は、外での行事取材やホームページ用の写真撮影で、最高の「スカッとした青空」にたくさん出会うことができました。町内のいろいろなところを走り回って撮った写真は、どれも真っ青な空。おかげで、ボクのお肌は夏休み中の子どもたちに負けないくらい真っ黒です。（昌太郎）
▶町でボランティア活動をするたくさんの方との出会いがあった今月号。活動内容は人それぞれ違いますが、その表情はみな輝き、年配のかたも元気で満ちあふれていました。心の充実、新しい価値観、生きがい、そして人とのつながり…ボランティアが与えてくれるものは多いようです。自らを成長させてくれるボランティア。その活動の輪が広がり、人の喜びが自分の喜びとなる、そんな人たちであふれた温かい福智町になれたらと思います。（日吉）



保健の掲示板



9月16日から10月15日までの保健事業日程

- 9月18日 ㊦【7～8カ月児健診】
生後7～8カ月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
- 9月19日 ㊦【4～5カ月児健診】
生後4～5カ月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
- 9月20日 ㊦【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：方城保健センター / 受付：9:30～11:30
- 9月25日 ㊦【ポリオ（小児マヒ）予防接種】
3～18カ月児を対象（7歳5カ月まで接種可）
会場：方城保健センター / 受付：13:20～14:20
- 10月3日 ㊦【1歳6カ月児健診】
1歳6カ月～1歳7カ月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
- 10月4日 ㊦【よちよち教室】
1歳児を対象にした育児教室（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：9:30～10:30
- 10月4日 ㊦【こぐま教室】
就学前までのお子さんと保護者を対象とした親子教室
会場：方城保健センター / 受付：10:00～11:30
- 10月5日 ㊦【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：13:30～15:30
- 10月10日 ㊦【乳幼児相談】
2カ月児、身体計測や育児相談などの希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：10:00～11:00
- 10月10日 ㊦【3歳児健診】
3歳～3歳1カ月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00～14:00
- 10月11日 ㊦【もぐもぐ教室 ※要予約】
4カ月～10カ月児を対象とした離乳食教室
会場：コスモス保健センター / 受付：10:30～12:00
- ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

コスモス健診センターの施設健診の申し込み受付中！
健診日：2月までの月・㊦・㊧（祝日を除く）第3回
受診希望日の2週間前までに、コスモス健診センターまでお電話（☎ 28-5512）か、広報8月号掲載のはがきでお申し込みください。詳しくは広報8月号をご覧ください。





ご家族に囲まれ1月4日に慶寿園で開かれた114歳誕生日祝い。ご自身で特製ケーキのろうそくを吹き消し、車いすで移動するなど元気な姿を見せた皆川ヨ子さん。多くのかたが、来年も、また次の年も一緒にお祝いできると信じていました。突然の訃報に、町は驚きと悲しみに包まれました。



おおらかな性格で笑顔を決やらず、いつも周囲を気遣った皆川ヨ子さん。拝むようなくさと「ありがとう、サンキュ」が口癖でした。



訃報を受けて、町内7か所に掲げていた横断幕や懸垂幕を降ろし、本庁と支所で半旗を掲げた行政。報道各社の断続的な取材状況に配慮し、ヨ子さんが亡くなった翌日の8月14日に、ご遺族の安永昭俊さん・安永早代子さん、慶寿園の立花敏朗施設長、浦田弘二町長が記者会見した。



8月16日、自宅近くの定善寺でしめやかに営まれた告別式。約150人が参列し最期の別れを告げた。喪主は四女の太田清子さんと孫の平山美智子さん。



長寿世界一という記録と、こぼれる笑顔の記憶。
いま、心から言いたい。ありがとう、と。

安らかに、眠るように天寿を全う。
最期まで感謝の気持ちを口にした皆川ヨ子さん。

「ヨ子さん、ありがとうございます。」
安らかにお眠りください。

世界最高齢で福智町名誉町民の皆川ヨ子さんが、8月13日午後5時47分、入所していた上野の特別養護老人ホーム「慶寿園」で、老衰のためこの世を去りました。114歳7か月でした。翌日、自宅で仮通夜が行われ、15日に通夜、16日に告別式が自宅そばの定善寺で営まれました。祭壇には、微笑みを浮かべた遺影が多くの花に囲まれ、ギネスの認定証と名誉町民章が飾られていました。

式では、浦田弘二町長が「町に誇りと健康長寿のすばらしさを授けてくださった皆川さん、あなたの姿を忘れることなく、健康長寿のまちづくりを進めていきます」と弔辞を述べ、およそ150人の参列者が最後の別れを告げて、ご冥福をお祈りしました。

皆川ヨ子さんは、明治26年1月4日、福智町上野(旧上野村)で生まれました。53歳で夫を亡くし、野菜や花の行商をしながら4男1女を育て、孫7人、ひ孫12人、玄孫2人に恵まれました。きれいな性格で、百歳を過ぎても家庭菜園の畑仕事と庭の掃除をしていたそうです。お酒と和菓子が好物で、105歳ぐらゐまで毎日少量の日本酒を嗜みました。平成14年から慶寿園で生活。それまで国内最高齢だった小山ウラさん(飯塚市)が17年4月に亡くなり、長寿日本一に。今年1月29日にエマ・ティルマンさん(米)の死去に伴い、世界最高齢に認定されました。7月2日には福智町名誉町民章と県知事の最長寿栄誉表彰、ギネス・ワールド・レコーズ社(英)から世界最高齢者の認定証が渡されました。

6月26日まで肺炎で入院したヨ子さんは、その後、慶寿園に戻り、酸素吸入器をつけて生活。回復の兆しも見られましたが、亡くなる20日ほど前から食事ができず、点滴だけになっていたそうです。このころ、声が出なかったヨ子さんですが、目と手で感謝の気持ちを表していたといいます。亡くなる前日の8月12日は、手があがらないため、ご家族に口の動きだけで「ありがとう」と伝えました。8月13日、一日眠った様子で、明日また起きるだろうと周囲は思っていました。眠りの延長線上で永眠されたようでした。

死去に際し、初孫の安永昭俊さんは「天寿を全うしたようで、穏やかな顔でした」と様子を語りました。かつて同居し、毎日のように面会した喪主の平山美智子さんは「安らかな最期だったと思います。よく頑張ったねと言ってあげたい。1週間ほど前に、私の名前を久しぶりに呼んでくれました」と振り返りました。慶寿園の立花敏朗施設長は「チャイミングなぐさで心が残っています。常に周囲を気遣ってくださる心優しい人でした」と唇をかみしめました。

町では、浦田町長の発案で「皆川ヨ子さんが世界最高齢となった1月29日を記念し、町全体で健康について考える日にしよう」と検討していた矢先でした。悲しみは尽きませんが、これからもヨ子さんの生き方に学び、町の健康づくりを進めていく方針です。

いつも感謝の気持ちを表し、時には冗談も交えながら、わたしたちに健康長寿の素晴らしさと心穏やかに生活することの大切さを教えてくださった皆川ヨ子さん。その人柄も含めて、紛れもなく町の誇りでした。最後に、親しみと哀悼の意を込めて、いつもあなたが口にしていた言葉を捧げます。

町内合唱団と京大交響楽団による河村光陽作曲「かもめの水兵さん」の共演。



福智の歌声、京大交響楽団と夢の共演。

福智町文化連盟設立記念
京都大学交響楽団演奏会

福 智町文化連盟の設立を記念した「京都大学交響楽団演奏会」が、8月10日に地域交流センターで開催されました。ボランティアで地方公演をしている京都大学交響楽団の活動に教育委員会が応募し、多数の中から抽選で選ばれて実現した演奏会です。

3部構成の内容で演奏され、交響曲や組曲をはじめ、映画音楽や子どもたちに人気の曲など幅広い楽曲が披露されました。第2部では、文化連盟の町内合唱団とのステージが実現し、福智町出身の童謡作曲家・河村光陽の代表曲を共演。「かもめの水兵さん」「うれしいひなまつり」「グッドバイ」の3曲が、まちの歌声とともに会場に響きました。指揮者体験やユーモラスな楽器紹介などの時間もあり、鑑賞した約300人の来場者は、本格的なクラシックの世界とフルオーケストラによる大迫力の音楽の魅力に引き込まれた様子でした♪



京大楽団の迫力の演奏。ラストはフルオーケストラによるバレエ組曲「白鳥の湖」が会場に響く。

町長日誌

▼8月13日午後5時47分、皆川ヨ子さんは、静かに息を引き取った。7月初めに、ギネスブック

の長寿世界一認定証をお届けした時、いつもに比べて精彩がなく、気になっていた。その反面、皆川さんならきつと元気をとり戻し、再びあの笑顔で、周囲の人達を包み込んでいただけると信じていた気持ちもあつた。でも、死という現実には直面してみると、改めて、114歳7ヶ月の生涯に感動を覚えずにはいられない。通夜のお務めをした任職から、これまで知らなかったヨ子さんの来し方が披露され、その類まれな生命力の源を垣間見た気がした▼それにしても、明治・大正・昭和・平成の4時代を力強く生き抜き、多くの人に夢と希望を与えていただいたことに、深甚なる謝意を表すとともに、心からご冥福をお祈りしたい▼ところで、今、子ども達に「生きる力」をどのようにして身に付けさせるかが、学校教育をはじめ、家庭や地域社会に問われている。勿論、進む道によって、求められる「生きる力」に多少の違いはあるかも知れない▼因みに、アメリカ大リーグ「ヤンキース」の松井秀喜選手は「生きる力とは、成功を続ける力ではなく、どんな苦労や困難も乗り越えていく力をいう」と語っている。これがすべてではないにしても、かなりの部分を言いついておられると思う▼いづれにしても、生きるということに関して世界一のお手本が、私達の身近にあることを感謝しつつ、町活性化のために、大いに活用させていただきたいと思っている。

浦田 弘二